

鉄鋼需給の動き

2023 年 11 月

一般社団法人日本鉄鋼連盟

日本経済は、一部指標に弱さがみられるも、総じてみれば緩やかに持ち直している。足元の指標を見ると、需要面では、設備投資は、9月の資本財出荷指数(季調済、輸送機械除く)が、産業用ロボットなどの減少により2ヵ月ぶりに前月比減少に転じた。他方、経済全体の総需要と供給力の差である「需給ギャップ」は、内閣府推計では23年4～6月期は15四半期ぶりにプラス(前年同期比0.1%増)に転じ、日銀推計でも横這い微減(同0.07%減)に留まり、需要不足は解消しつつあることが窺える。このほか、9月の小売業販売額(速報)は前年同月比で19ヵ月連続の増加となり、同月の輸出数量指数(季調済)は自動車牽引し、前月比で2ヵ月ぶりの増加となった。供給面を見ると、9月の鉱工業生産指数(季調済)は生産用機械工業などが低下したが、供給制約の緩和により自動車生産が増加したことから、全体では前月比で3ヵ月ぶりの上昇となった。基調判断は、「一進一退で推移している」に据え置かれ、製造工業生産予測調査では、10月は上昇、11月は低下が見込まれている。

海外経済を見ると、米国は、金融引締め長期化への警戒感は続くものの、良好な雇用・所得環境を背景とした堅調な個人消費が景気を下支えしている。中国は、内需回復ペースは鈍く、外需も停滞する等、政府の各種経済対策効果は限定的であり、景気回復の足取りは力強さを欠く状況が続いている。欧州では、内外需の弱含みが続き景気後退への懸念が台頭しつつある。

国内鉄鋼市場について、需要産業別にみると、製造業の自動車部門では、9月の四輪車生産が前年同月比10.7%増と9ヵ月連続で増加している。一方、同月の産業機械部門(鉱工業生産指数)のうち、生産用機械(前年同月比21.4%減)と、汎用・業務用機械生産(同5.8%減)はともに減少している。建設業では、建築のうち非住宅着工床面積(同0.8%増)が8ヵ月ぶりの増加となった一方で、新設住宅着工戸数(同6.8%減)が4ヵ月連続の減少となった。こうしたなか、9月の国内鉄鋼統計(速報値)は、粗鋼生産(703万トン、前年同月比1.6%減)が2ヵ月連続で減少となった一方、普通鋼鋼材生産(483万トン、同2.4%増)は輸出向け出荷を中心に増加したことから4ヵ月連続の増加となった。

海外鉄鋼市場を見ると、9月の世界粗鋼生産は前年同月比1.5%減の1億4,930万トンと4ヵ月ぶりに減少した。このうち、中国は同5.6%減の8,211万トン(日産量は273.7万トン)と4ヵ月ぶりに減少したが、日当たり生産が8月比微減に留まるなど生産レベルは依然高止まりしており、また同国の10月鋼材輸出は同53.1%増の794万トンと4ヵ月連続の増加となり、1～10月累計では7,473万トンと、22暦年の6,732万トンを既に上回っている。

当面の経済及び鉄鋼需要の下振れリスクとして、欧米における金融引締めの長期化、ロシアのウクライナ侵攻長期化や中東情勢悪化などの地政学リスク、原油等の資源価格の高止まり、物価上昇による消費者マインドの冷え込み、中国の経済情勢及び鉄鋼需給動向、人手不足による生産活動への影響などが挙げられる。こうしたリスクを踏まえ、引き続き内外経済及び鋼材需要の動向を注視する必要がある。

1.経済動向

- ・9月の鉱工業生産は前月比3ヵ月ぶりの上昇。基調判断は「生産は一進一退」に据え置き。先行きは、10月は上昇、11月は低下を予測。
- ・9月の機械受注(船舶・電力を除く民需)は前月比1.4%増と3ヵ月ぶりの増加。基調判断は「足踏みがみられる」に据え置き。
- ・10月の乗用車販売(速報)は前年同月比14.7%増の31.5万台と14ヵ月連続の増加。小型車が減少、普通車・軽が増加。
- ・9月の小売業販売額は前年同月比5.8%増と19ヵ月連続の増加、同月の全世帯消費支出は前年同月比2.8%減と7ヵ月連続の減少。
- ・9月の完全失業率は前月から0.1ポイント低下の2.6%。有効求人倍率は前月から横ばいの1.29倍。
- ・7-9月期の実質GDP成長率(一次速報)は、季調済前期比0.5%減(年率換算2.1%減)と3期ぶりのマイナス。

2.鉄鋼需要産業動向

(建設部門)

- ・土木:9月の土木工事受注額は、公共土木が前年同月比10.0%減と4ヵ月連続の減少。民間土木は同3.6%増と2ヵ月ぶりの増加。
- ・建築:9月の新設住宅着工戸数は前年同月比6.8%減と4ヵ月連続の減少。非住宅着工床面積は同0.8%増と8ヵ月ぶりの増加。

(製造業部門)

- ・自動車:9月の四輪車生産は前年同月比10.7%増の83.9万台と9ヵ月連続の増加。
- ・産業機械:9月の生産用機械は前年同月比21.4%減と4ヵ月連続の減少、汎用・業務用機械は同5.8%減と3ヵ月連続の減少。
- ・造船:10月の輸出船契約量は前年同月比約4.5倍の97万G/Tと2ヵ月連続の増加。10月末の手持工事量は2,233万G/T。

3.鋼材受注

- ・普通鋼:9月の内需は前年同月比1.0%減の298万トンと3ヵ月連続の減少。
- ・特殊鋼:9月の内需は前年同月比2.8%減の88万トンと2ヵ月ぶりの減少。

4.鉄鋼需給(生産・出荷・在庫)

- ・粗鋼生産:9月の粗鋼生産は前年同月比1.6%減の703万トンと2ヵ月連続の減少。
- ・鋼材生産:9月の普通鋼鋼材生産は、前年同月比2.4%増の483万トンと4ヵ月連続の増加。8月の特殊鋼鋼材生産は、同4.7%減の122万トンと3ヵ月ぶりの減少。
- ・出荷:9月の普通鋼鋼材国内向け出荷は前年同月比1.7%増の321万トンと4ヵ月ぶりの増加。8月の特殊鋼鋼材国内向け出荷は同3.5%減の80万トンと3ヵ月ぶりの減少。
- ・在庫:9月末の普通鋼鋼材国内在庫は517万トンと前月末比2ヵ月ぶりの減少。8月末の特殊鋼鋼材在庫は176万トンと同3ヵ月ぶりの増加。

5.鋼材輸入、鋼材流通

- ・9月の鋼材輸入は、前年同月比11.9%増の44万トンと8ヵ月連続の増加。

6.鉄鋼輸出

- ・10月の全鉄鋼輸出(速報)は、前年同月比8.5%増の269万トンと4ヵ月連続の増加。

7.海外市場

- ・世界粗鋼生産:9月(worldsteel、63カ国)の粗鋼生産は前年同月比1.5%減の1億4,930万トンと4ヵ月ぶりの減少。
- ・中国:10月(国家统计局)の粗鋼生産は、前年同月比1.8%減の7,909万トン(日産量255.1万トン)、2ヵ月連続の減少。

1-10月累計では前年同期比1.4%増の8億7,470万トン。

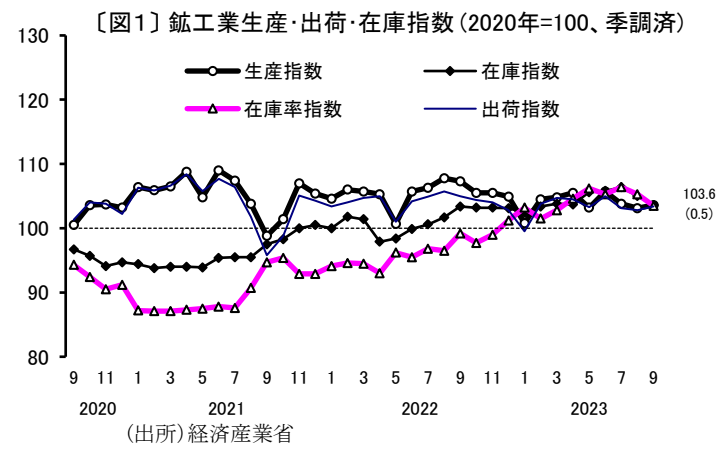
10月の鋼材輸出は前年同月比53.1%増の794万トンと4ヵ月連続の増加、1～10月累計では前年同期比34.8%増の7,473万トンと、22年通年(6,732万トン)超え。

鋼材輸入は同13.5%減の67万トンとなり2021年5月以降、30ヵ月連続の減少、1～10月累計では同30.1%減の637万トン。

1. 経済動向 -9月の鉱工業生産は3ヵ月ぶりの上昇、先行きは10月は上昇、11月は低下の見込み-

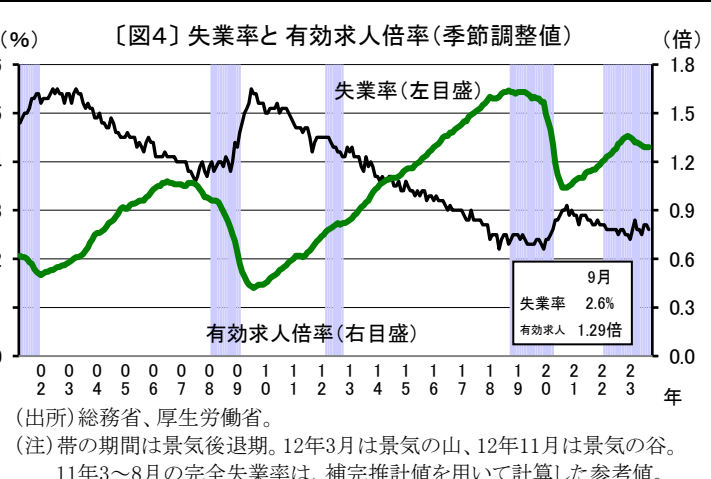
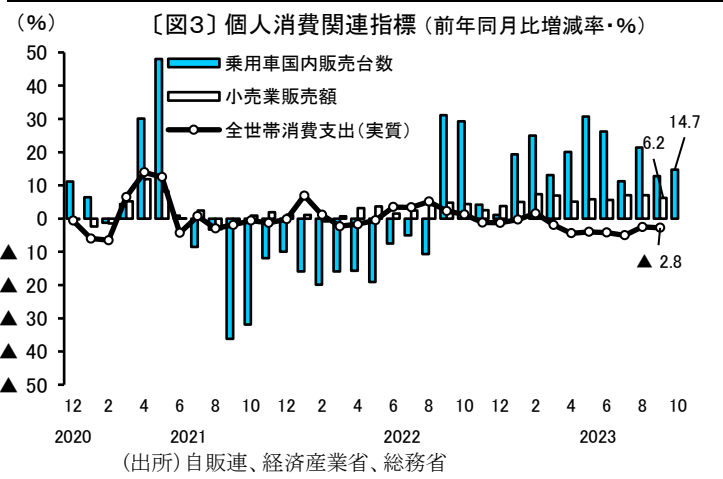
・9月の鉱工業生産は、前月比(季調済。以下、同)0.5%上昇の103.6と3ヵ月ぶりに上昇した。業種別にみると、生産用機械工業、電気・情報通信機械等が低下した一方、自動車工業、汎用・業務用機械工業等が上昇した。製造工業生産予測調査は、10月は同3.9%増の上昇、11月は2.8%減の低下を予測。基調判断は「生産は一進一退」に据え置き。出荷(103.4)は同0.6%増と上昇した一方、在庫(103.6)と、在庫率(103.5)はともに同1.1%減と低下した。

・9月の機械受注(船舶・電力を除く民需)は、全体では前月比(季調済。以下、同)1.4%増の8,529億円と3ヵ月ぶりの増加。内訳は、製造業(1.8%減)は化学工業等の減少により2ヵ月ぶりに減少したものの、非製造業(5.7%増)は運輸・郵便業等の増加により2ヵ月ぶりの増加となった。基調判断は「足踏みがみられる」に据え置かれた。
・7-9月期(同)は前期比1.8%減の2兆5,385億円。先行きの10-12月期(同)は同0.5%増の2兆5,506億円と3期ぶりの増加が見込まれる。



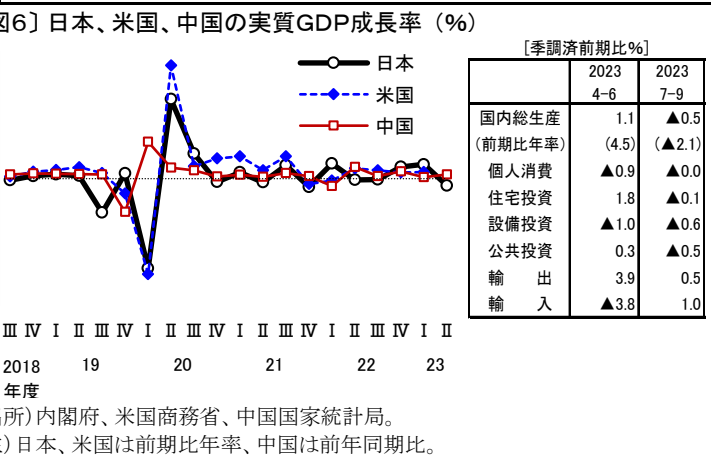
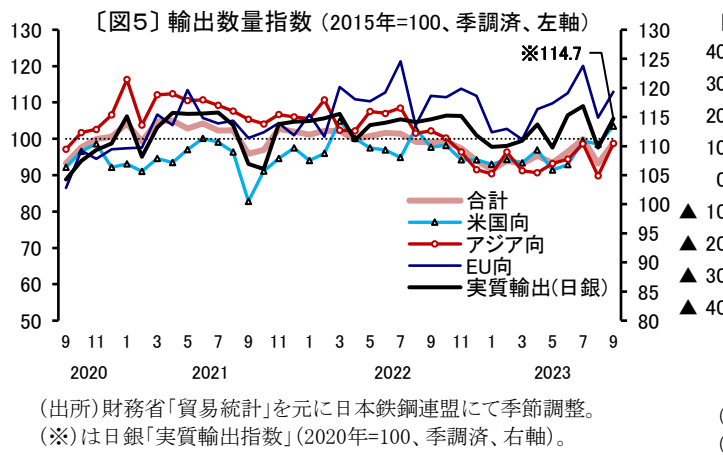
・10月の乗用車販売(除・輸入車)は前年同月比14.7%増と14ヵ月連続の増加。小型車が9ヵ月ぶりのマイナス、普通車が10ヵ月連続、軽が3ヵ月連続のプラスとなった。
・9月の小売業販売額は前年同月比5.8%増と19ヵ月連続の増加、同月の全世帯消費支出は前年同月比2.8%減と7ヵ月連続の減少となった。

・9月の完全失業率は前月から0.1ポイント低下の2.6%。有効求人倍率は前月から横ばいの1.29倍。また、新規求人倍率は前月から0.11ポイント低下の2.22倍。



・9月の輸出数量指数(季調済)は前月比6.1%増と2ヵ月ぶりの増加となった。向け先別では、アジア向け、米国向け、EU向けがいずれも2ヵ月ぶりの増加となった。
・9月の実質輸出(日銀)は前月比4.6%増と2ヵ月ぶりに増加した。

・7～9月期の実質GDP成長率(一次速報)は、季調済前期比0.5%減と3期ぶりの減少となった(年率換算2.1%減)。内需寄与度は0.4%減、外需寄与度は0.1%減とともに減少となった。支出項目別には、個人消費(0.0%減)、設備投資(0.6%減)が2期連続、住宅投資(0.1%減)が5期ぶり、公共投資(0.5%減)が6期ぶりの減少となった。輸出入動向では、輸出(0.5%増)が2期連続、輸入(1.0%増)が3期ぶりの増加となった。



2. 鉄鋼需要産業動向

ー10月の四輪車販売は14ヵ月連続のプラスー

<土木>

○10月の公共土木工事前払金保証請負金額は前年同月比2.8%増の6,077億円、2ヵ月連続の増加

- ・発注者別には、国の機関（12.1%減・2ヵ月ぶり）が減少したものの、地方の機関（6.6%増・3ヵ月ぶり）が増加し、全体では前年同月比2.8%増の6,077億円と2ヵ月連続の増加となった。

○9月の公共土木工事受注額は前年同月比10.0%減の1兆4,222億円、4ヵ月連続の減少

- ・治山治水（27.0%減）、農林水産（16.6%減）、道路（10.7%減）、港湾空港（8.6%減）等が減少し、全体では前年同月比10.0%減の1兆4,222億円と4ヵ月連続の減少となった。

○9月の民間土木工事受注額は前年同月比3.6%増の3,751億円、2ヵ月ぶりの増加

- ・製造業・鉱業・建設業（2.3%減）等が減少したものの、電気ガス（8.2%増）、運輸通信（6.3%増）等が増加し、全体では前年同月比3.6%増の3,751億円と2ヵ月ぶりの増加となった。

<建築>

○9月の新設住宅着工戸数は前年同月比6.8%減の6.9万戸と4ヵ月連続の減少

- ・利用関係別には、持家（12.3%減・22ヵ月連続）、貸家（2.9%減・2ヵ月連続）、分譲（7.3%減・4ヵ月連続）がいずれも減少し、全体では6.8%減の6.9万戸と4ヵ月連続の減少となった。
- ・季節調整済年率換算着工戸数は80.0万戸となった。

○9月の非住宅着工床面積は前年同月比0.8%増の362万㎡と8ヵ月ぶりの増加

- ・用途別では、商業・サービス（8.3%減）、公益事業（20.5%減）、公務文教（0.7%減）が減少したものの、鉱工業（27.1%増）の増加などから、全体では0.8%増の362万㎡と8ヵ月ぶりの増加となった。
- ・使途別では、事務所（34.5%減）、倉庫（14.6%減）が減少したものの、店舗（10.5%増）、工場（35.3%増）が増加した。
- ・季節調整済年率換算着工床面積は4,337万㎡、5千万㎡を5ヵ月連続で下回った。

〔表1〕建設関連統計指標

（単位：億円、千戸、%）

	公共土木工事前払金保証請負金額			土木工事受注額		新設住宅着工戸数					年率換算 着工戸数
		国の機関	地 方	公 共	民 間	合 計	持 家	貸 家	分 譲	(マンション)	
2021年度	85,438	29,269	56,169	144,493	43,685	865.9	281.3	330.8	248.4	102.8	—
2022年度	83,679	29,180	54,500	148,026	47,264	860.8	248.1	347.4	259.5	113.9	—
2022年 7- 9月	22,945	5,834	17,111	40,262	10,654	224.8	67.0	91.6	64.6	27.2	861.9
10-12月	13,847	2,652	11,195	31,423	10,743	216.2	63.1	88.7	62.7	25.5	851.6
2023年 1- 3月	18,891	8,106	10,785	47,112	14,866	201.7	52.5	81.3	66.8	33.1	876.2
4- 6月	29,032	13,216	15,816	29,298	11,117	207.8	57.8	87.5	61.2	25.4	814.6
7- 9月	22,520	5,517	17,003	37,261	10,032	207.5	61.2	89.3	55.8	21.8	796.5
2023年 8月	6,672	1,306	5,366	12,131	2,689	70.4	21.0	29.4	19.6	7.9	812.1
9月	8,576	2,367	6,209	14,222	3,751	68.9	19.5	29.7	19.3	8.1	799.9
10月	6,077	1,064	5,013	—	—	—	—	—	—	—	—
2021年度	▲9.3	▲11.9	▲7.9	▲4.1	▲1.1	6.6	6.9	9.2	3.9	▲5.0	—
2022年度	▲2.1	▲0.3	▲3.0	2.4	8.2	▲0.6	▲11.8	5.0	4.5	10.8	—
2022年 7- 9月	▲5.5	▲11.7	▲3.2	5.1	5.9	0.0	▲12.8	6.3	7.1	11.6	1.1
10-12月	▲8.2	▲13.5	▲6.8	6.0	11.4	▲1.6	▲15.7	8.4	1.8	7.3	▲1.2
2023年 1- 3月	16.2	38.8	3.6	8.8	6.9	0.6	▲8.9	3.0	6.5	20.8	2.9
4- 6月	3.7	5.0	2.6	0.2	1.1	▲4.7	▲11.9	2.0	▲6.6	▲9.8	▲7.0
7- 9月	▲1.9	▲5.4	▲0.6	▲7.5	▲5.8	▲7.7	▲8.6	▲2.6	▲13.5	▲19.6	▲2.2
2023年 8月	▲6.9	▲24.8	▲1.1	▲4.1	▲25.8	▲9.4	▲5.9	▲6.2	▲15.5	▲26.4	4.4
9月	2.1	13.8	▲1.7	▲10.0	3.6	▲6.8	▲12.3	▲2.9	▲7.3	▲2.8	▲1.5
10月	2.8	▲12.1	6.6	—	—	—	—	—	—	—	—
4月からの累計	57,628	19,797	37,832	66,560	21,149	415.3	119.0	176.8	117.0	47.2	—
前年同期	56,854	19,632	37,222	69,492	21,655	442.9	132.5	177.4	130.1	55.3	—
増 減 量	774	164	609	▲2,932	▲506	▲27.6	▲13.6	▲0.6	▲13.0	▲8.1	—
前年同月比	1.4	0.8	1.6	▲4.2	▲2.3	▲6.2	▲10.2	▲0.4	▲10.0	▲14.6	—

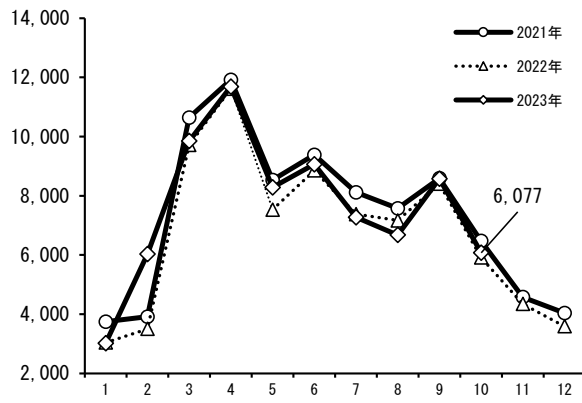
（出所）保証事業会社協会、国土交通省

（注）1. 土木工事受注額の公共土木は公共工事計から教育病院・住宅宿舍・庁舎その他を除いたもの。

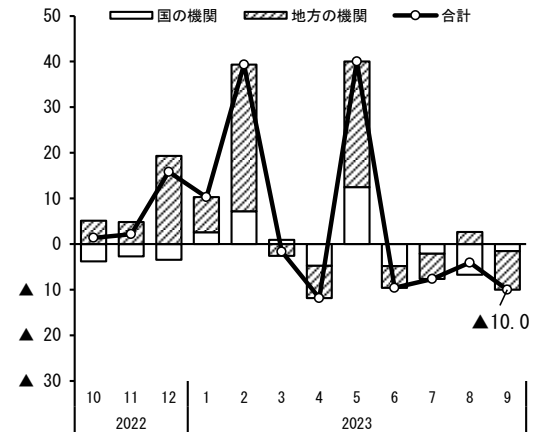
2. 年率換算着工戸数は前月（期）比増減率。

3. 土木工事受注額は、2021年4月より推計方法が変更されたため、それ以前とは接続しない。

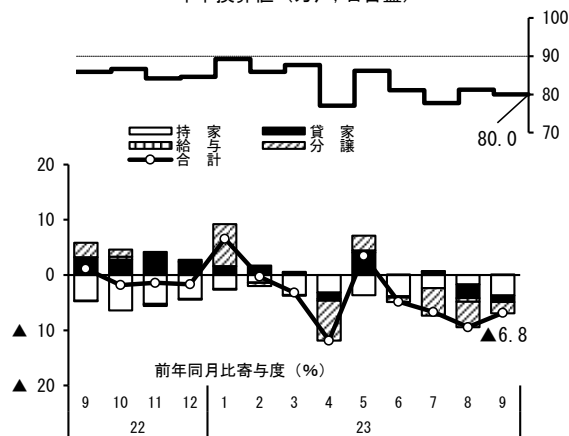
〔図7〕公共土木工事前払金保証請負金額（億円）



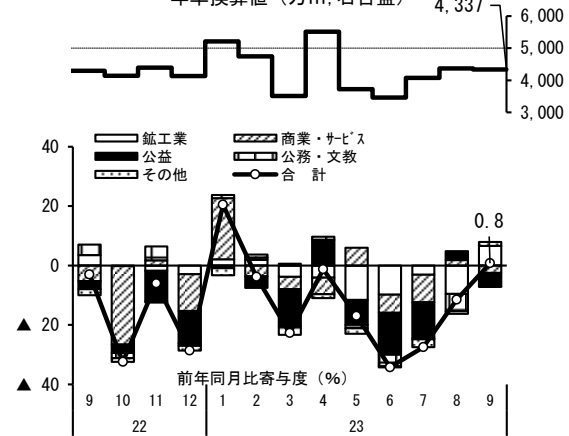
〔図8〕公共土木工事受注額（前年同月比寄与度・%）



〔図9〕新設住宅着工戸数
年率換算値（万戸、右目盛）



〔図10〕非住宅用途別着工床面積
年率換算値（万㎡、右目盛）



（単位：万㎡，%）

	建築着工 床面積計	居住用	非居住用	用 途 別				使 途 別				鋼構造建築着工床面積		
				（鉱工業）	（商業・サービス）	（公益事業）	（公務文教）	（事務所）	（店 舗）	（工 場）	（倉 庫）	SRC	RC	S
2021年度	12,247	7,441	4,806	952	1,720	1,120	723	759	419	724	1,339	197	2,129	4,558
2022年度	11,872	7,182	4,690	1,099	1,481	1,124	738	600	427	874	1,281	238	2,458	4,197
2022年 7- 9月	3,137	1,882	1,255	268	377	328	209	172	106	201	361	45	643	1,109
10-12月	2,844	1,794	1,050	252	364	189	188	135	101	201	217	52	509	1,009
2023年 1- 3月	2,689	1,662	1,027	227	359	247	151	144	105	179	285	69	644	909
4- 6月	2,847	1,726	1,121	240	347	302	173	129	90	196	341	53	617	978
7- 9月	2,777	1,702	1,075	238	329	263	183	125	96	174	293	48	555	924
2023年 7月	926	565	361	71	133	75	64	58	29	55	82	22	179	314
8月	931	579	352	55	98	124	53	29	32	40	134	16	202	290
9月	920	558	362	111	98	63	66	38	35	79	77	10	174	320
2021年度	7.1	7.3	7.0	18.9	5.3	18.2	▲11.0	24.7	3.1	21.9	12.8	3.9	▲1.3	13.2
2022年度	▲3.1	▲3.5	▲2.4	15.4	▲13.9	0.4	2.0	▲20.9	1.9	20.7	▲4.3	21.0	15.4	▲7.9
2022年 7- 9月	4.1	▲2.2	15.1	21.3	▲3.1	54.6	8.0	▲1.7	9.6	31.7	38.0	23.8	24.1	7.1
10-12月	▲13.5	▲5.9	▲24.0	▲7.9	▲34.7	▲35.7	2.5	▲52.8	▲7.6	3.9	▲45.5	▲28.6	1.9	▲22.6
2023年 1- 3月	▲2.7	▲2.6	▲2.9	0.1	11.7	▲20.2	▲2.8	26.2	9.9	▲0.1	▲14.3	44.4	18.1	▲11.7
4- 6月	▲11.1	▲6.4	▲17.4	▲31.8	▲8.6	▲16.3	▲9.4	▲13.9	▲21.1	▲33.0	▲18.3	▲27.1	▲6.7	▲16.4
7- 9月	▲11.5	▲9.6	▲14.3	▲11.1	▲12.7	▲19.7	▲12.2	▲27.3	▲9.5	▲13.6	▲18.7	7.7	▲13.7	▲16.6
2023年 7月	▲17.7	▲9.9	▲27.5	▲17.9	▲25.8	▲44.4	▲2.7	▲21.9	▲34.5	▲21.5	▲44.9	▲11.4	▲17.7	▲27.9
8月	▲10.7	▲10.3	▲11.5	▲40.7	8.1	10.5	▲30.3	▲26.7	5.8	▲45.3	10.2	25.5	▲12.8	▲17.3
9月	▲5.1	▲8.5	0.8	27.1	▲8.3	▲20.5	▲0.7	▲34.5	10.5	35.3	▲14.6	40.6	▲10.1	▲0.7
4月からの累計	5,624	3,428	2,196	478	676	565	356	254	186	370	635	101	1,172	1,902
前年同期	6,339	3,727	2,613	619	757	688	400	321	221	494	779	117	1,305	2,279
増 減 量	▲715	▲299	▲417	▲142	▲81	▲123	▲43	▲68	▲34	▲124	▲144	▲16	▲132	▲376
前年同期比	▲11.3	▲8.0	▲15.9	▲22.9	▲10.7	▲17.9	▲10.8	▲21.1	▲15.5	▲25.1	▲18.5	▲13.8	▲10.1	▲16.5

<自動車>－9月の四輪車生産は9ヵ月連続のプラス

○10月の国内販売（輸入車除く）は前年同月比12.0%増の37.6万台と14ヵ月連続のプラス

- ・ 10月の国内販売（輸入車除く）は、乗用車（14.7%増）は、小型車が9ヵ月ぶりのマイナスとなったものの、普通車が10ヵ月連続、軽が3ヵ月連続のプラスとなったことから、全体では14ヵ月連続のプラスとなった。トラック（1.0%減）は、普通車が10ヵ月連続、小型車が11ヵ月連続のプラスとなったものの、軽が5ヵ月連続のマイナスとなったことから全体では3ヵ月ぶりのマイナスとなった。バス（67.3%増）は、12ヵ月連続のプラス。四輪車計（輸入車除く）では、前年同月比12.0%増の37.6万台と14ヵ月連続のプラスとなった。

○9月の完成車輸出は前年同月比11.6%増の41.2万台と8ヵ月連続のプラス

- ・ 9月の完成車輸出は、アジア向け（6.2%減）が減少したものの、中近東向け（1.1%増）、欧州向け（11.0%増）、北米向け（22.0%増）、オセアニア向け（14.7%増）が増加したことから、全体では前年同月比11.6%増の41.2万台と8ヵ月連続のプラスとなった。
- ・ 10月の米国新車販売は、前年同月比1.5%増の120.9万台と15ヵ月連続のプラス。季調済・年率換算では1,550万台となった。また、同月の中国新車販売（中国汽车工业协会発表）は、前年同月比13.8%増の285万台と3ヵ月連続のプラスとなった。

○9月の生産は前年同月比10.7%増の83.9万台と9ヵ月連続のプラス

- ・ 9月の生産は、乗用車（15.0%増）は、普通車（9ヵ月連続増）、小型車（7ヵ月連続増）、軽（3ヵ月連続増）がいずれもプラスとなったことから、全体では9ヵ月連続のプラスとなった。トラック（13.4%減）は、小型車が2ヵ月連続、普通車、軽が4ヵ月連続のマイナスとなったことから、全体では4ヵ月連続のマイナスとなった。四輪車合計では前年同月比10.7%増の83.9万台と9ヵ月連続のプラスとなった。

〔表2〕四輪車国内販売台数

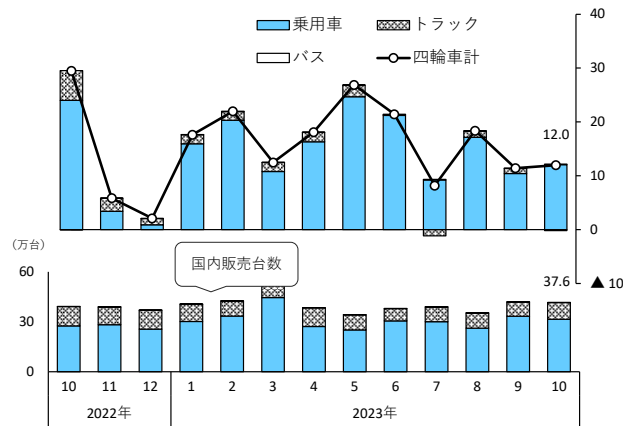
（単位：千台、％）

	四輪車計	国産車販売									輸 入	国 内 販売計
		乗用車	普通車	小型車	軽四輪	トラック	普通車	小型車	軽四輪	バ ス		
2021年度	3,890	3,172	1,092	899	1,181	713	135	203	374	6	325	4,216
2022年度	4,078	3,338	1,203	862	1,272	734	114	200	420	6	308	4,386
2022年 7- 9月	961	781	286	201	295	179	28	46	105	1	74	1,035
10-12月	998	813	266	218	328	184	26	47	110	1	82	1,081
2023年 1- 3月	1,301	1,083	433	265	385	216	36	62	119	2	80	1,382
4- 6月	996	829	338	197	294	166	30	48	89	1	73	1,069
7- 9月	1,079	896	362	212	322	181	36	50	95	2	78	1,157
2023年 8月	319	262	102	63	97	56	12	15	29	1	21	340
9月	404	333	129	78	126	70	13	18	40	1	33	437
P 10月	376	315	124	72	120	60	9	16	35	1	22	398
2021年度	▲10.0	▲10.6	▲1.8	▲16.1	▲13.3	▲7.1	▲11.0	▲7.5	▲5.3	▲21.9	▲3.1	▲9.5
2022年度	4.8	5.2	10.2	▲4.0	7.7	3.1	▲15.8	▲1.5	12.4	▲3.9	▲5.4	4.0
2022年 7- 9月	3.3	4.0	8.8	▲7.2	8.3	0.8	▲26.9	▲15.8	24.2	▲19.1	▲14.1	1.9
10-12月	11.4	10.3	2.9	5.8	20.8	16.5	▲15.6	5.6	34.7	6.6	14.1	11.6
2023年 1- 3月	16.7	18.3	35.2	2.9	14.1	9.4	11.6	14.3	6.3	23.2	▲2.5	15.4
4- 6月	21.9	25.4	54.6	10.9	11.1	6.6	25.2	5.4	2.2	81.9	1.6	20.3
7- 9月	12.3	14.6	26.8	5.2	9.4	1.5	28.1	8.8	▲8.9	64.9	6.1	11.8
2023年 8月	18.4	21.4	28.8	10.5	21.8	5.7	41.7	10.6	▲6.1	48.1	3.9	17.3
9月	11.4	12.8	21.1	4.1	10.8	5.0	14.2	11.5	▲0.3	53.9	2.7	10.7
10月	12.0	14.7	38.5	▲5.3	9.3	▲1.0	12.5	11.7	▲8.6	67.3	▲7.3	10.7
4月からの累計	2,451	2,040	823	480	736	407	74	114	219	4	173	2,624
前年同期	2,114	1,717	593	455	669	395	60	106	229	3	169	2,283
増 減 量	337	323	230	26	67	12	15	8	▲11	2	4	341
前年同期比	15.9	18.8	38.8	5.7	10.0	3.1	24.9	7.7	▲4.6	70.8	2.4	14.9

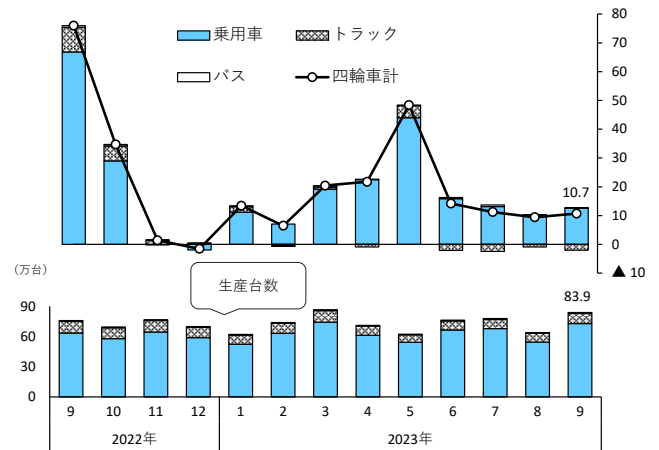
（出所）日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合

（注）車種区分は、登録者は03年1月実績より、軽自動車は04年1月実績より、それぞれ従来のシャシーベースからナンバーベースへ変更された。

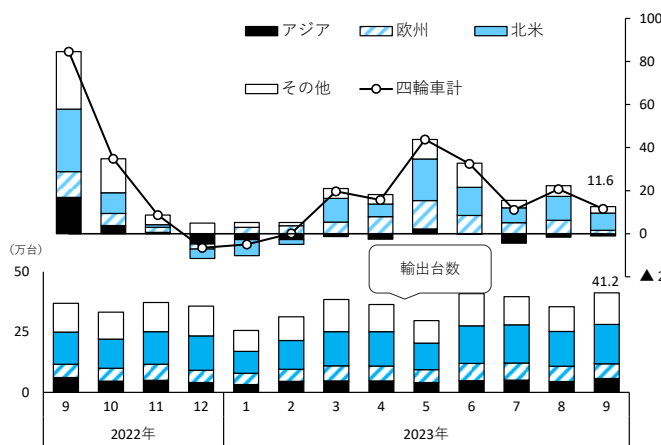
〔図11〕国産車販売台数、前年同月比寄与度(%)



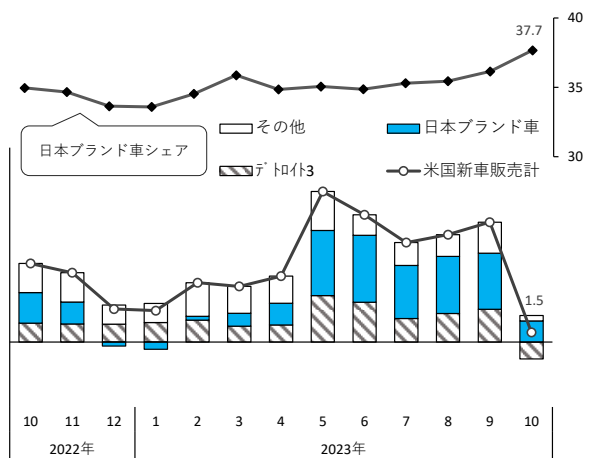
〔図12〕四輪車生産台数、前年同月比寄与度(%)



〔図13〕四輪車輸出台数、前年同月比寄与度(%)



〔図14〕米国新車販売台数、前年同月比寄与度(%)



〔表3〕四輪車仕向地別輸出・生産台数

(単位：千台、%)

	輸 出								生 産				米国新車 販売台数
	合 計	アジア	中近東	欧州	(EU)	北 米	(米国)	オセアニア	四輪車計	乗用車+ トラック	乗用車	トラック	
2021年度	3,684	589	332	544	285	1,442	1,288	429	7,545	7,470	6,340	1,130	15,003
2022年度	3,864	577	464	592	404	1,438	1,283	409	8,100	8,010	6,815	1,195	14,482
2022年 7-9月	1,020	176	107	153	103	379	341	107	2,042	2,020	1,707	314	3,412
10-12月	1,061	137	131	172	118	397	361	111	2,160	2,135	1,812	323	3,604
2023年 1-3月	954	124	131	159	109	352	304	99	2,225	2,200	1,897	303	3,576
4-6月	1,069	136	115	187	134	408	352	122	2,099	2,075	1,821	253	4,124
7-9月	1,163	152	122	195	136	466	404	122	2,257	2,229	1,953	276	3,986
2023年 7月	397	50	42	71	49	159	142	42	778	769	678	90	1,310
8月	355	45	35	63	45	144	123	34	639	631	546	85	1,333
9月	412	57	44	61	42	164	139	47	839	829	729	100	1,343
2021年度	0.4	2.5	7.1	▲14.7	▲22.3	▲3.9	▲5.0	14.8	▲5.3	▲5.5	▲7.3	6.2	0.0
2022年度	4.9	▲2.0	39.9	8.9	41.8	▲0.3	▲0.4	▲4.7	7.4	7.2	7.5	5.8	▲3.5
2022年 7-9月	23.3	37.2	42.2	31.2	80.7	16.4	15.1	5.4	24.4	24.4	25.2	20.1	▲0.2
10-12月	9.3	▲4.7	70.4	8.2	39.6	2.9	2.3	▲0.6	9.0	8.8	8.0	13.3	9.1
2023年 1-3月	5.6	▲13.9	42.3	30.4	81.7	2.5	▲0.4	▲7.9	13.5	13.4	15.1	3.9	7.6
4-6月	28.9	▲3.1	20.8	72.4	83.8	31.8	26.9	32.7	25.4	25.4	30.1	▲0.5	17.4
7-9月	14.1	▲13.6	13.9	27.9	31.9	22.9	18.6	14.6	10.5	10.3	14.4	▲12.1	16.8
2023年 7月	11.1	▲23.7	11.7	34.4	44.6	18.4	17.4	14.7	11.2	10.8	15.7	▲15.9	15.4
8月	20.7	▲9.4	39.2	40.7	49.1	29.3	26.0	14.2	9.4	9.4	12.2	▲5.9	16.6
9月	11.6	▲6.2	1.1	11.0	7.5	22.0	13.8	14.7	10.7	10.6	15.0	▲13.4	18.5
4月からの累計	2,232	288	237	382	270	874	756	245	4,355	4,304	3,774	529	8,110
前年同期	1,849	316	202	261	176	689	618	199	3,715	3,675	3,106	569	6,925
増 減 量	383	▲28	35	121	94	185	138	46	640	629	668	▲39	1,186
前年同期比	20.7	▲8.9	17.2	46.3	53.5	26.9	22.3	23.0	17.2	17.1	21.5	▲6.9	17.1

(出所) 日本自動車工業会、ウォード自動車情報社

(注) 輸出のEU向けは、2004年5月から25カ国への拡大に伴い、それ以前の数字は比較のため、2001年度分まで遡り新ベースに置き換えた。

<産業機械>

○9月の受注は前年同月比2.4%増と2ヵ月ぶりの増加

- ・民需（2.5%減・2ヵ月連続）が減少したものの、官公需（33.8%増・2ヵ月ぶり）、外需（2.8%増・10ヵ月ぶり）が増加した。外需では、産業機械（7.8%減・10ヵ月連続）、工作機械（4.7%増・9ヵ月ぶり）が減少したものの、原動機（66.7%増・2ヵ月ぶり）が増加した。

○9月の生産用機械工業の生産は前年同月比21.4%減と4ヵ月連続の減少。また、汎用・業務用機械工業の生産は同5.8%減と3ヵ月連続の減少。

- ・生産用機械工業の生産を機種別にみると、建設・鉱山機械（2.9%増・8ヵ月連続）、化学機械（1.1%増・4ヵ月ぶり）が増加したものの、農業用機械（24.4%減・4ヵ月連続）、金属加工・工作機械（7.3%減・2ヵ月連続）が減少し、全体では前年同月比21.4%減と4ヵ月連続の減少となった。
- ・汎用・業務用機械工業の生産を機種別にみると、運搬装置（2.7%増・4ヵ月ぶり）が増加したものの、ボイラ・原動機（14.3%減・3ヵ月連続）、冷凍機・温湿調整装置（0.4%減・3ヵ月連続）が減少し、全体では前年同月比5.8%減と3ヵ月連続の減少となった。

<電気機械>

○9月の生産は、重電機等の落ち込みから、前年同月比7.4%減と4ヵ月連続の減少

- ・重電機は、前年同月比5.1%減と3ヵ月連続の減少となった。品目別には、静止電機（7.6%増・3ヵ月ぶり）が増加したものの、回転電機（11.8%減・3ヵ月連続）、開閉制御装置（5.0%減・4ヵ月連続）が減少した。
- ・家庭用電気機器は、民生用電子（4.2%増・9ヵ月連続）が増加したものの、民生用電機（31.4%減・4ヵ月連続）が減少したことから、全体では前年同月比17.3%減と3ヵ月連続の減少となった。

<造船>10月の手持工事は前月末比0.7%増の2,233万G/Tと3ヵ月連続の増加

- 9月の起工量は前年同月比24.9%減の70万G/Tと3ヵ月ぶりの減少となった。
- 10月の輸出船契約量は前年同月比約4.5倍の97万G/Tと2ヵ月連続の増加となった。
- 10月末の手持工事は前月末比0.7%増の2,233万G/Tと3ヵ月連続の増加となった。

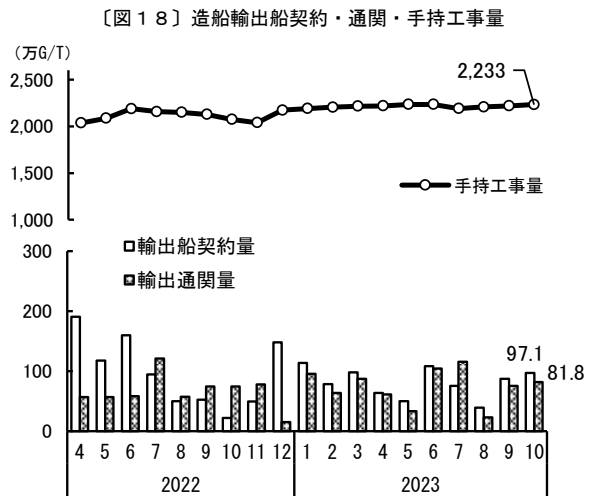
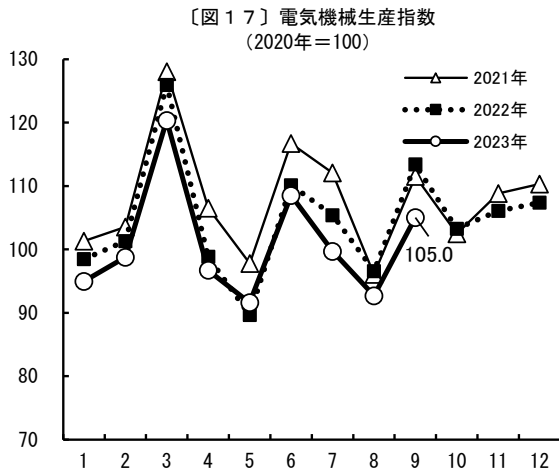
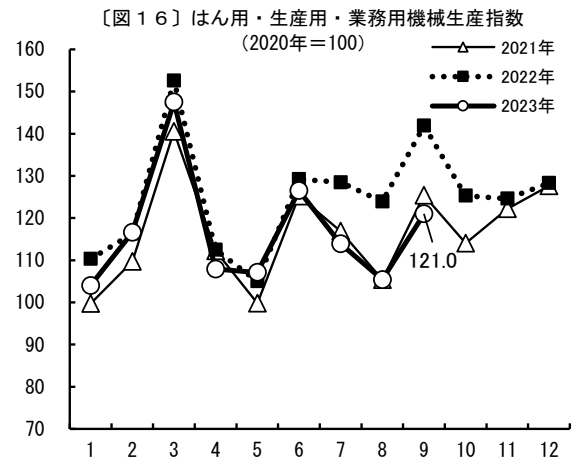
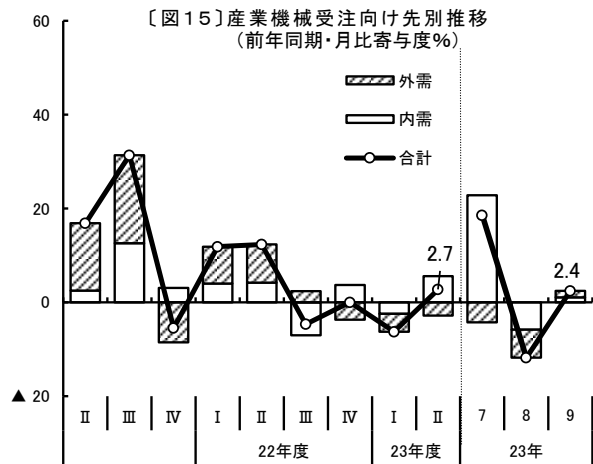
〔表4〕 産 業 機 械 活 動 水 準

（単位：億円、IIP<20年=100>、%）

	受 注 額				IIP								
	合 計	民 需	官公需	外 需	生産用					汎用・業務用			
					機械工業	農業用 機械	建設・鉱山 機械	化学機械	金属加工 工作機械	機械工業	ボイラ・ 原動機	運搬装置	冷凍機・温湿 調整装置
2021年度	135,689	55,995	7,987	66,606	124.7	121.4	124.9	88.8	123.6	112.9	111.9	104.0	112.7
2022年度	141,625	57,065	8,376	71,068	132.7	108.3	126.6	103.9	142.9	114.7	120.4	101.8	112.2
2022年 7- 9月	35,572	14,286	2,277	17,670	143.7	121.0	124.6	128.3	144.5	118.4	138.5	109.2	115.9
10-12月	33,877	12,556	1,732	18,242	134.8	110.3	142.8	106.0	143.8	116.8	112.4	108.5	113.6
2023年 1- 3月	37,358	16,174	2,509	17,500	129.9	96.1	129.7	98.7	151.4	115.1	117.9	110.5	107.6
4- 6月	32,645	13,114	1,972	16,338	118.8	103.8	132.9	90.6	138.0	108.5	96.3	94.3	109.8
7- 9月	36,547	16,044	2,554	16,663	116.9	95.9	132.7	88.5	136.4	109.7	110.0	98.2	107.3
2023年 7月	13,193	6,718	680	5,369	116.5	102.0	135.5	76.8	140.1	111.1	98.2	108.4	110.7
8月	10,459	4,344	699	5,007	110.5	89.8	124.0	85.8	124.2	99.9	97.4	84.7	94.9
9月	12,895	4,982	1,175	6,287	123.8	96.0	138.5	103.0	145.0	118.0	134.3	101.6	116.4
2021年度	18.0	13.5	3.3	25.1	20.8	19.8	24.4	▲16.4	24.8	13.6	16.3	7.8	11.1
2022年度	4.4	1.9	4.9	6.7	6.4	▲10.8	1.3	17.0	15.7	1.5	7.6	▲2.1	▲0.4
2022年 7- 9月	12.3	8.1	8.7	17.0	19.8	2.1	6.5	35.8	22.6	6.1	15.3	15.1	9.9
10-12月	▲4.7	▲14.0	▲21.5	4.8	5.5	▲4.5	9.5	15.1	21.0	2.1	▲1.3	▲1.3	1.9
2023年 1- 3月	0.0	6.1	25.2	▲7.3	▲3.7	▲23.7	▲0.7	7.4	7.5	▲2.0	10.2	▲17.3	▲6.8
4- 6月	▲6.2	▲6.7	6.2	▲7.5	▲3.0	▲2.0	21.7	9.9	4.6	0.2	▲14.6	19.3	▲1.8
7- 9月	2.7	12.3	12.2	▲5.7	▲18.6	▲20.7	6.5	▲31.0	▲5.6	▲7.4	▲20.6	▲10.1	▲7.4
2023年 7月	18.6	59.7	6.4	▲8.1	▲14.0	▲16.5	6.2	▲58.5	4.7	▲8.3	▲34.9	▲1.3	▲9.5
8月	▲11.8	▲12.6	▲8.0	▲12.3	▲20.0	▲21.0	11.2	▲12.4	▲13.4	▲8.3	▲9.6	▲28.8	▲12.5
9月	2.4	▲2.5	33.8	2.8	▲21.4	▲24.4	2.9	1.1	▲7.3	▲5.8	▲14.3	2.7	▲0.4
4月からの累計	69,191	29,157	4,526	33,001	117.9	99.9	132.8	89.6	137.2	109.1	103.1	96.3	108.6
前年同期	70,390	28,334	4,134	35,325	133.1	113.4	116.9	105.4	138.2	113.4	125.6	94.2	113.9
増 減 量	▲1,198	823	392	▲2,323	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前年同期比	▲1.7	2.9	9.5	▲6.6	▲11.4	▲12.0	13.6	▲15.0	▲0.7	▲3.7	▲17.9	2.2	▲4.7

（出所）経済産業省、内閣府

（注）受注額は内閣府「機械受注実績」の原動機＋産業機械＋工作機械。



〔表5〕電気機械、造船活動水準

(単位:IIP<20年=100>・%、千G/T、%)

	I I P							造 船				
	電気機械	重電機	家 庭 用 電気機器	民生用電機		通信機械	電 子 部 品	起工量	竣工量	輸出船 契約量	輸出通関 実績	手持ち 工事量
2021年度	107.3	105.3	92.9	94.2	90.7	90.7	106.8	8,724	9,875	14,300	9,254	19,012
2022年度	103.7	107.6	97.2	99.1	94.1	88.1	79.2	8,784	9,093	11,741	8,382	22,156
2022年 7- 9月	105.1	106.7	98.7	103.0	91.6	82.9	87.3	1,855	2,258	1,962	2,529	21,266
10-12月	105.6	109.7	97.0	95.0	100.4	86.7	76.9	2,041	2,009	2,194	1,675	21,732
2023年 1- 3月	104.7	116.5	97.8	93.3	105.2	109.4	61.7	2,495	2,643	2,904	2,466	22,156
4- 6月	98.9	100.5	109.1	111.4	105.2	69.7	75.6	2,015	1,962	2,218	1,986	22,342
7- 9月	99.1	100.8	87.6	76.2	106.7	66.9	86.0	2,172	2,280	2,017	2,139	22,185
2023年 8月	92.7	91.1	77.0	67.3	93.2	54.0	84.6	490	508	391	228	22,068
9月	105.0	115.2	83.9	67.0	112.3	87.5	91.1	701	691	874	752	22,185
10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	971	818	22,334
2021年度	5.7	6.3	▲9.0	▲7.6	▲11.2	▲9.1	2.6	▲8.3	▲15.2	59.8	▲8.9	25.7
2022年度	▲3.3	2.2	4.6	5.2	3.7	▲2.8	▲25.8	0.7	▲7.9	▲17.9	▲9.4	16.5
2022年 7- 9月	▲1.3	5.3	20.4	25.3	12.0	▲8.1	▲25.2	▲0.8	▲17.3	▲34.0	▲6.3	▲2.8
10-12月	▲1.5	5.4	10.5	15.5	3.3	▲5.3	▲27.8	▲13.0	▲4.6	▲26.7	▲10.4	2.2
2023年 1- 3月	▲3.6	1.6	5.5	▲1.6	18.2	18.3	▲34.1	14.0	▲2.5	4.4	1.9	2.0
4- 6月	▲0.6	3.0	14.4	6.1	32.9	▲4.8	▲17.1	▲15.8	▲10.1	▲52.6	16.0	0.8
7- 9月	▲5.7	▲5.5	▲11.3	▲25.9	16.5	▲19.3	▲1.5	17.1	1.0	2.8	▲15.4	▲0.7
2023年 8月	▲4.0	▲4.9	▲7.5	▲19.7	13.5	▲25.3	▲0.8	9.5	0.8	▲21.4	▲60.2	0.7
9月	▲7.4	▲5.1	▲17.3	▲31.4	4.2	▲11.5	3.2	▲24.9	▲11.9	67.5	1.3	0.5
10月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	346.5	9.6	0.7
4月からの累計	99.0	100.7	98.3	93.8	105.9	68.3	80.8	4,187	4,241	5,206	4,943	-
前年同期	102.3	102.2	97.0	104.0	85.4	78.1	89.2	4,248	4,441	6,861	4,987	-
増 減 量	-	-	-	-	-	-	-	▲61	▲200	▲1,655	▲45	-
前年同期比	▲3.2	▲1.4	1.4	▲9.8	24.1	▲12.5	▲9.4	▲1.4	▲4.5	▲24.1	▲0.9	-

(出所) 経済産業省、国土交通省、日本船舶輸出組合

(注) 1. 電気機械工業IIPは、電子部品・デバイス工業+電気・情報通信機械工業を加重平均したもの。

2. 民生用電機IIPは、家事用機器+空調・住宅関連機器を加重平均したもの。

3. 造船起工量、竣工量は速報で主要工場ベース。

4. 手持ち工事量は前月(期)末比増減率。

3. 鋼材受注

－9月の普通鋼鋼材受注（内需計）は、前年同月比1.0%減の298万トンと3ヵ月連続の減少－

○9月の普通鋼鋼材受注（内需計）は、前年同月比1.0%減の298万トンと3ヵ月連続の減少。

・建設用（7.8%減）は、土木（4.7%減・2ヵ月連続）、建築（7.8%減・17ヵ月連続）、その他建設（11.0%減・21ヵ月連続）がいずれも減少したことから、全体では17ヵ月連続の減少となった。

※その他建設用：建築金物、建築用付属資材（配管・配線用、サッシ、シャッター等）、仮設材（足場鋼管、メタルフォーム等）など。

・製造業用（1.2%増）は、造船（1.5%減、3ヵ月ぶり）、産機（5.9%減・16ヵ月連続）、電機（0.6%減・3ヵ月連続）が減少したものの、ウェイトが高い自動車（7.2%増・2ヵ月ぶり）が増加したことから、全体では3ヵ月ぶりの増加となった。

・建設向けのウェイトが高い販売業者向け（1.8%増）は17ヵ月ぶりの増加となった。

・内需全体（1.0%減）では3ヵ月連続の減少となった。

・輸出向け（4.2%減）は5ヵ月ぶりの減少となった。

○9月の特殊鋼鋼材受注（内需計）は、前年同月比2.8%減の88万トンと2ヵ月ぶりの減少。

・製造業用（0.8%減）は、自動車（12.9%増・5ヵ月連続）が増加したものの、産機（13.8%減・18ヵ月連続）、次工程（10.7%減・4ヵ月ぶり）が減少したことから、全体では4ヵ月ぶりの減少となった。

・内需全体（2.8%減）では2ヵ月ぶりの減少となった。

・輸出向け（9.5%増）は2ヵ月連続の増加となった。

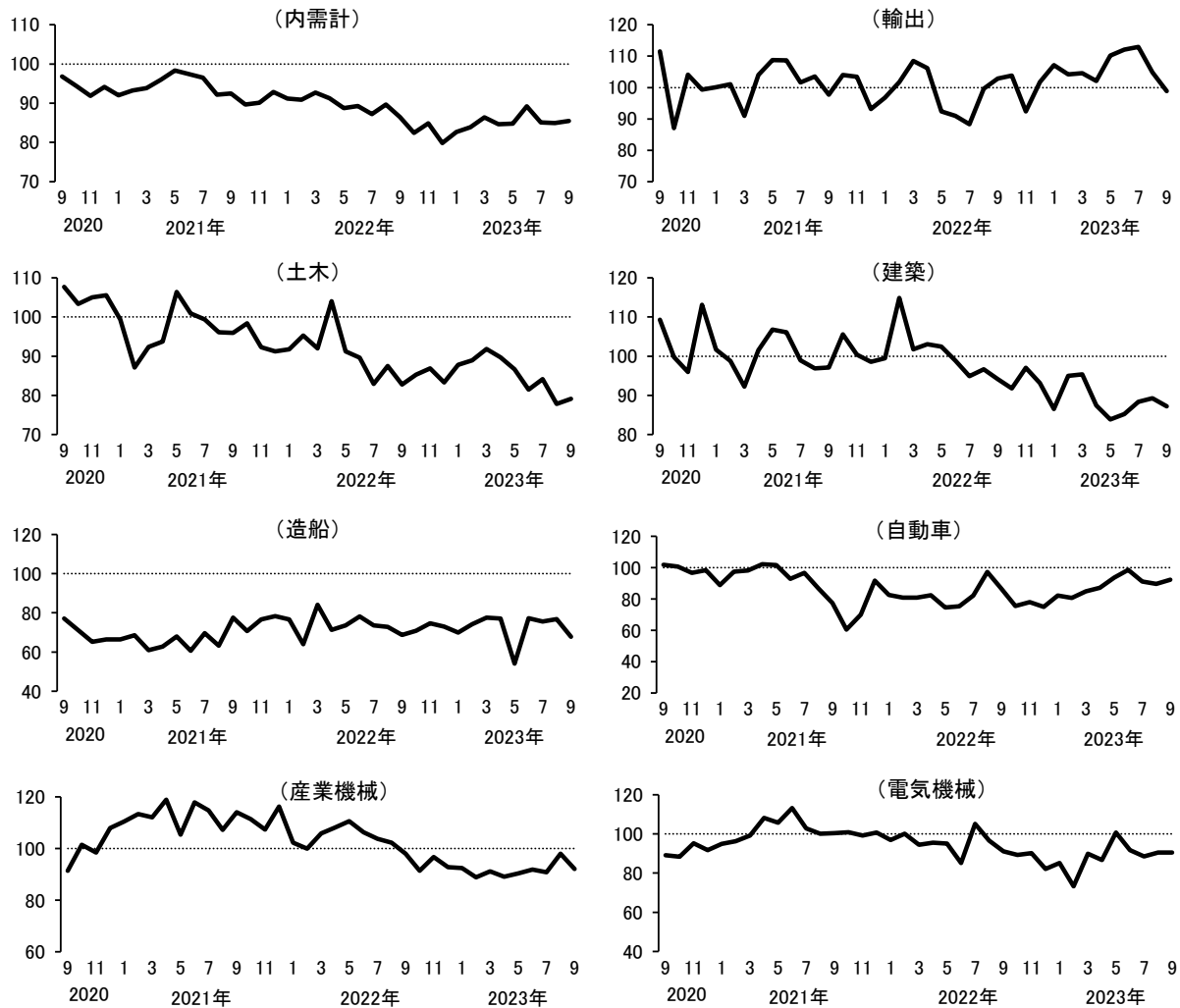
〔表6〕鋼材受注総括表

（単位：千トン、％）

	普 通 鋼 鋼 材											
	建設計	普 通			製造業計	鋼 鋼 材				販売業者	内需計	輸出
		土 木	建 築	その他建設		造 船	自動車	産 機	電 機			
2021年度	10,479	2,051	6,047	2,382	15,747	2,752	7,085	1,555	1,519	12,088	38,314	22,453
2022年度	9,463	1,887	5,662	1,914	14,747	2,834	6,789	1,389	1,338	11,097	35,307	21,782
2022年 7- 9月	2,328	453	1,378	497	3,948	694	1,927	348	352	2,685	8,961	5,111
10-12月	2,349	468	1,412	469	3,595	716	1,612	344	337	2,757	8,701	5,467
2023年 1- 3月	2,256	468	1,352	437	3,653	707	1,782	312	312	2,733	8,643	5,927
4- 6月	2,196	451	1,286	459	3,637	670	1,759	322	341	2,815	8,648	5,875
7- 9月	2,146	432	1,273	441	3,906	711	1,976	322	323	2,645	8,697	5,578
2023年 7月	727	146	431	150	1,249	256	596	102	103	894	2,870	2,083
8月	685	128	415	142	1,338	237	685	110	112	829	2,852	1,854
9月	734	158	427	150	1,319	217	696	109	108	922	2,975	1,641
2021年度	3.9	▲2.7	3.2	12.3	6.5	▲3.3	3.8	20.9	18.8	7.5	6.1	9.4
2022年度	▲9.7	▲8.0	▲6.4	▲19.6	▲6.3	3.0	▲4.2	▲10.7	▲11.9	▲8.2	▲7.8	▲3.0
2022年 7- 9月	▲9.3	▲13.3	▲2.8	▲20.7	▲2.4	1.9	3.6	▲9.7	▲3.7	▲9.1	▲6.3	▲4.8
10-12月	▲12.0	▲9.5	▲7.6	▲24.8	▲5.3	▲3.1	1.9	▲16.3	▲13.1	▲12.5	▲9.5	▲0.6
2023年 1- 3月	▲11.5	▲3.6	▲12.1	▲17.2	▲5.6	▲1.0	1.5	▲11.8	▲15.1	▲7.9	▲8.0	3.0
4- 6月	▲13.1	▲9.4	▲15.4	▲10.2	2.4	▲6.4	19.9	▲16.4	1.2	▲3.7	▲3.9	11.3
7- 9月	▲7.8	▲4.7	▲7.6	▲11.2	▲1.1	2.3	2.6	▲7.5	▲8.1	▲1.5	▲3.0	9.1
2023年 7月	▲6.4	1.7	▲7.4	▲10.5	▲1.1	3.2	11.2	▲12.4	▲16.4	▲1.3	▲2.6	26.9
8月	▲9.3	▲11.2	▲7.7	▲12.2	▲3.2	5.1	▲7.8	▲4.2	▲6.5	▲5.1	▲5.3	5.6
9月	▲7.8	▲4.7	▲7.8	▲11.0	1.2	▲1.5	7.2	▲5.9	▲0.6	1.8	▲1.0	▲4.2
4月からの累計	4,343	883	2,559	901	7,543	1,381	3,735	644	665	5,460	17,345	11,453
前年同期	4,857	951	2,898	1,009	7,499	1,411	3,395	733	689	5,606	17,963	10,389
増 減 量	▲515	▲68	▲339	▲108	44	▲29	341	▲90	▲25	▲147	▲618	1,064
前年同期比	▲10.6	▲7.2	▲11.7	▲10.7	0.6	▲2.1	10.0	▲12.2	▲3.6	▲2.6	▲3.4	10.2

（出所）日本鉄鋼連盟

〔図 19〕 普通鋼鋼材受注推移（季節調整済指数、2019 年＝100）



（単位：千トン、％）

	特 殊 鋼 鋼 材							鋼 材 合 計	
	製造業計				販売業者	内需計	輸出	内需計	輸出計
		産 機	自動車	次工程					
2021年度	10,345	1,623	4,328	3,858	1,107	11,803	4,742	50,117	27,195
2022年度	8,986	1,434	3,818	3,269	896	10,177	4,348	45,483	26,130
2022年 7- 9月	2,289	357	1,002	817	215	2,579	1,059	11,541	6,170
10-12月	2,191	346	931	804	215	2,477	1,080	11,178	6,547
2023年 1- 3月	2,222	364	963	789	208	2,499	1,045	11,142	6,972
4- 6月	2,279	330	1,027	818	206	2,552	1,005	11,201	6,880
7- 9月	2,400	320	1,154	826	185	2,656	1,059	11,352	6,638
2023年 7月	804	112	373	287	65	894	340	3,764	2,424
8月	796	100	381	280	63	883	334	3,735	2,188
9月	800	108	400	258	57	879	384	3,854	2,025
2021年度	17.7	31.1	11.1	21.2	29.9	18.2	13.5	8.7	10.1
2022年度	▲13.1	▲11.6	▲11.8	▲15.3	▲19.1	▲13.8	▲8.3	▲9.2	▲3.9
2022年 7- 9月	▲13.9	▲12.6	▲11.0	▲17.3	▲24.1	▲14.9	▲11.4	▲8.4	▲6.0
10-12月	▲12.8	▲14.3	▲9.7	▲15.2	▲24.6	▲14.1	0.6	▲10.6	▲0.4
2023年 1- 3月	▲10.3	▲8.3	▲8.8	▲12.1	▲20.3	▲11.6	▲13.9	▲8.8	0.1
4- 6月	▲0.2	▲10.2	11.3	▲4.6	▲20.1	▲2.6	▲13.7	▲3.6	6.8
7- 9月	4.9	▲10.5	15.1	1.1	▲14.3	3.0	▲0.0	▲1.6	7.6
2023年 7月	1.7	▲13.4	10.7	1.0	▲16.1	▲0.1	▲14.9	▲2.0	18.7
8月	15.1	▲2.9	22.5	15.2	0.7	13.2	8.4	▲1.5	6.0
9月	▲0.8	▲13.8	12.9	▲10.7	▲24.8	▲2.8	9.5	▲1.4	▲1.8
4月からの累計	4,679	649	2,181	1,644	390	5,208	2,064	22,553	13,517
前年同期	4,573	724	1,925	1,675	473	5,200	2,223	23,163	12,612
増 減 量	106	▲75	256	▲31	▲83	8	▲159	▲610	905
前年同期比	2.3	▲10.4	13.3	▲1.8	▲17.5	0.1	▲7.2	▲2.6	7.2

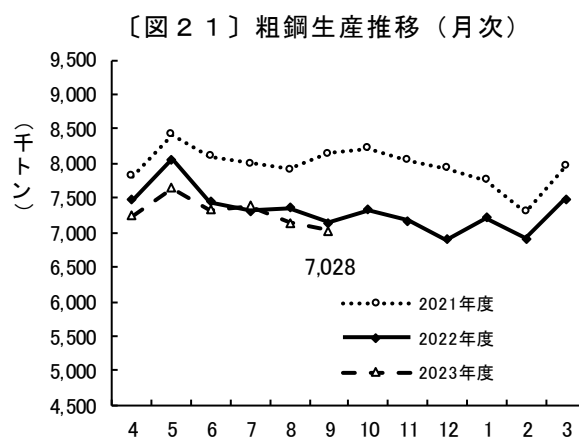
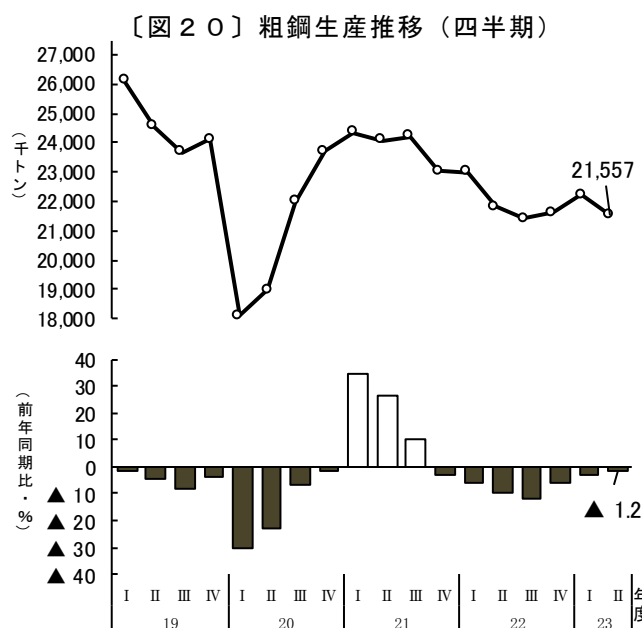
4. 鉄鋼需給（生産・出荷・在庫）

－9月の粗鋼生産は、前年同月比1.6%減の703万トンと

2ヵ月連続の減少－

○粗鋼生産・普通鋼鋼材生産・普通鋼鋼材出荷・在庫動向

- ・ 9月の粗鋼生産は、前年同月比1.6%減の703万トンと2ヵ月連続の減少となった。
- ・ 9月の普通鋼鋼材生産は、前年同月比2.4%増の483万トンと4ヵ月連続の増加となった。
- ・ 9月の普通鋼鋼材国内向け出荷は、前年同月比1.7%増の321万トンと4ヵ月ぶりの増加となった。輸出向け出荷は同18.8%増の195万トンと4ヵ月連続の増加となった。
- ・ 9月末の普通鋼鋼材国内向け在庫は、前月末比13.5万トン減の517万トンと2ヵ月ぶりの減少となった。なお、在庫率は前月末比33.5ポイント低下の160.8%となった。



(万トン)	粗鋼		
	需要量見通し	生産計画	実績
2023年4月～6月	2,243	2,261	2,221
2023年7月～9月	2,231	2,223	2,156
2023年10月～12月	2,233		

〔表7〕鉄鋼需給総括表

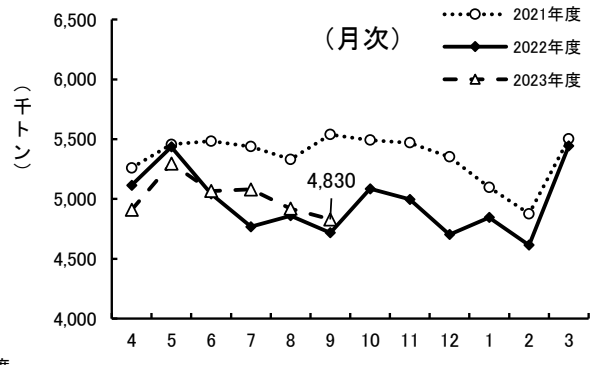
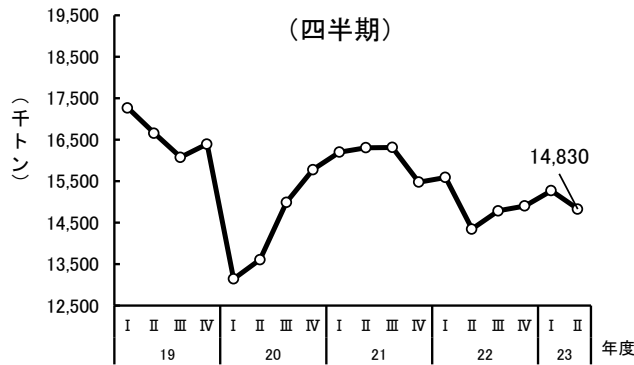
(単位:千トン、%)

	粗鋼生産			鋼材生産		普通鋼鋼材出荷			普通鋼鋼材在庫		
	合計	転炉鋼	電炉鋼	普通鋼	特殊鋼	計	国内	輸出	計	国内	在庫率
2021年度	95,637	71,152	24,485	64,302	17,201	63,294	40,483	22,811	6,838	5,988	161.8
2022年度	87,837	64,326	23,511	59,629	15,334	60,064	38,051	22,013	6,402	5,388	153.3
2022年 7- 9月	21,820	16,066	5,754	14,346	3,873	14,452	9,463	4,989	6,842	5,971	189.3
10-12月	21,410	15,551	5,858	14,785	3,855	15,044	9,615	5,429	6,583	5,627	175.6
2023年 1- 3月	21,623	16,012	5,611	14,905	3,685	15,086	9,406	5,680	6,402	5,388	171.9
4- 6月	22,214	16,198	6,015	15,273	3,684	15,309	9,299	6,010	6,366	5,323	171.7
7- 9月	21,557	16,263	5,295	14,830	3,853	15,063	9,143	5,921	6,133	5,169	169.6
2023年 7月	7,383	5,614	1,769	5,081	1,282	5,180	3,199	1,981	6,267	5,189	162.2
8月	7,147	5,507	1,639	4,920	1,217	4,717	2,729	1,988	6,469	5,304	194.3
9月	7,028	5,142	1,886	4,830	1,354	5,166	3,214	1,951	6,133	5,169	160.8
2021年度	15.5	15.9	14.6	11.8	24.4	8.5	7.0	11.3	1,008	917	-
2022年度	▲8.2	▲9.6	▲4.0	▲7.3	▲10.8	▲5.1	▲6.0	▲3.5	▲436	▲599	-
2022年 7- 9月	▲9.4	▲11.6	▲2.5	▲12.0	▲12.7	▲8.9	▲3.4	▲17.8	▲106	▲59	-
10-12月	▲11.5	▲12.6	▲8.7	▲9.4	▲8.6	▲6.7	▲7.9	▲4.4	▲258	▲344	-
2023年 1- 3月	▲6.0	▲6.2	▲5.5	▲3.7	▲10.9	▲3.4	▲7.1	3.4	▲181	▲239	-
4- 6月	▲3.4	▲3.0	▲4.3	▲2.0	▲6.1	▲1.1	▲2.8	1.6	▲36	▲65	-
7- 9月	▲1.2	1.2	▲8.0	3.4	▲0.5	4.2	▲3.4	18.7	▲233	▲154	-
2023年 7月	0.8	4.9	▲10.3	6.6	0.9	2.6	▲3.7	14.6	▲99	▲135	-
8月	▲2.9	▲1.2	▲8.0	1.2	▲4.7	2.5	▲8.5	22.9	202	115	-
9月	▲1.6	0.0	▲5.7	2.4	2.1	7.5	1.7	18.8	▲336	▲135	-
4月からの累計	43,771	32,461	11,310	30,103	7,536	30,372	18,442	11,931	-	-	-
前年同期	44,805	32,763	12,042	29,938	7,794	29,935	19,030	10,905	-	-	-
増減量	▲1,033	▲302	▲732	165	▲258	438	▲588	1,026	-	-	-
前年同期比	▲2.3	▲0.9	▲6.1	0.6	▲3.3	1.5	▲3.1	9.4	-	-	-

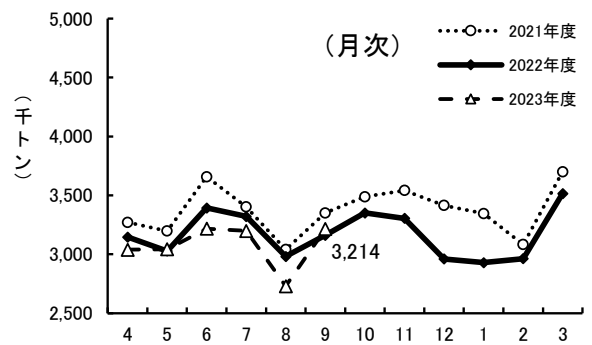
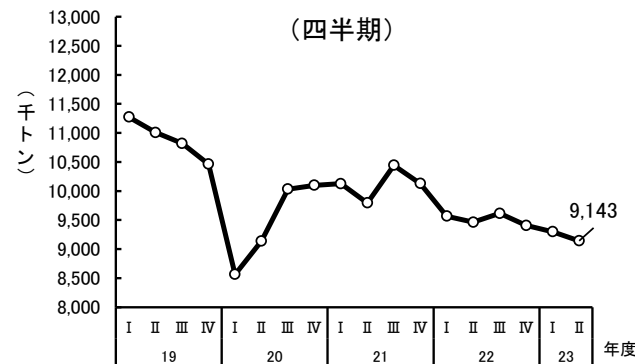
(出所) 経済産業省、日本鉄鋼連盟 (注) 在庫は前月(期)末比増減量

〔図22〕 普通鋼鋼材需給

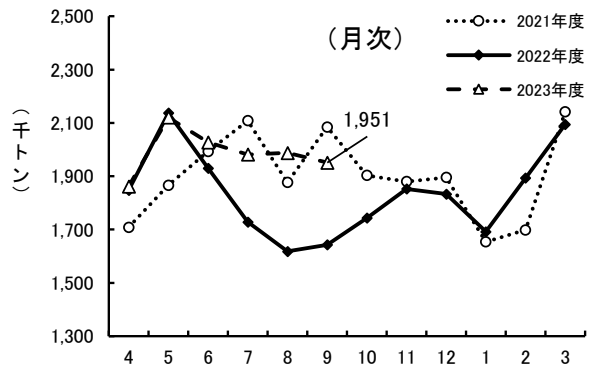
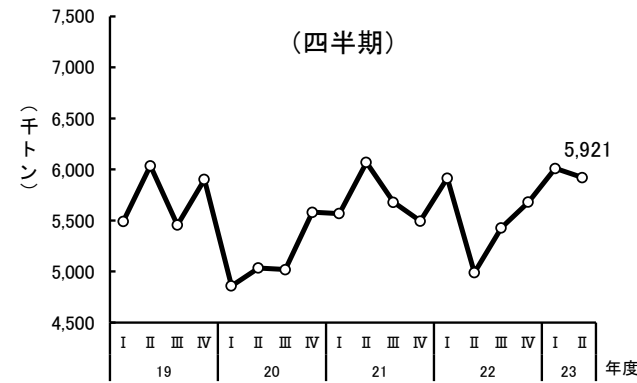
生産



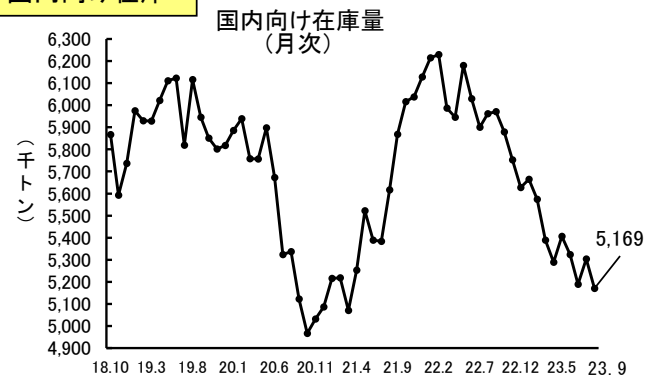
国内向け出荷



輸出向け出荷



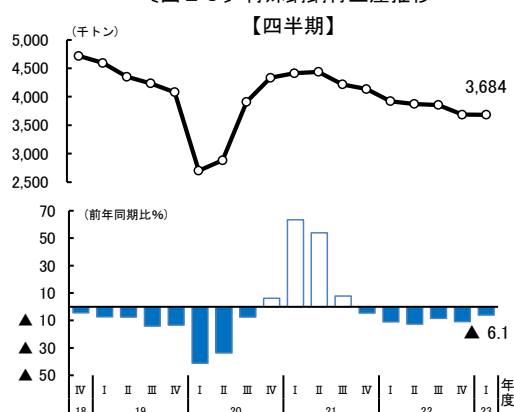
国内向け在庫



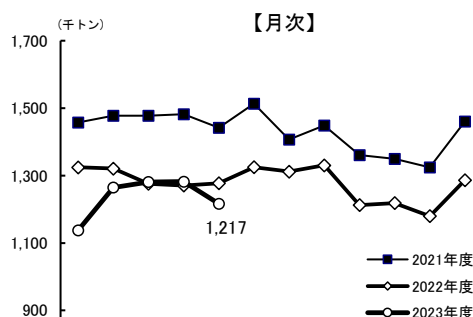
○生産、出荷、在庫動向

- ・ 8月の特殊鋼鋼材生産は、前年同月比4.7%減の122万トンと3ヵ月ぶりの減少となった。鋼種別には、高抗張力鋼（同6.7%増）が増加したものの、機械構造用炭素鋼（同8.5%減）、構造用合金鋼（同2.9%減）、ステンレス鋼（同17.1%減）、ばね鋼（同9.6%減）、工具鋼（同43.6%減）が減少した。
- ・ 8月の特殊鋼鋼材出荷は、国内向け（同3.5%減、80万トン・3ヵ月ぶり）、輸出向け（同5.8%減、32万トン・15ヵ月連続）が減少し、合計（同4.2%減、112万トン）では19ヵ月連続の減少となった。
- ・ 8月末の特殊鋼鋼材在庫は、前月末比8.0万トン増の176万トンとなった。なお、在庫率は24ポイント上昇の157.8%となった。

〔図23〕特殊鋼鋼材生産推移



〔図24〕特殊鋼鋼材生産推移



〔表8〕特殊鋼鋼材需給表

	生産	出荷			在庫		鋼種別生産					
		計	国内	輸出	在庫率	在庫	工具鋼	SC	AL	ばね鋼	ステンレス	高抗張力鋼
2021年度	17,201	16,783	11,969	4,814	1,957	130.9	195	4,629	3,584	360	2,238	4,182
2022年度	15,334	15,263	10,884	4,379	1,728	129.9	155	3,981	3,231	312	2,043	3,956
2022年 4-6月	3,922	3,889	2,702	1,187	1,879	144.9	45	999	812	79	520	1,020
7-9月	3,873	3,795	2,677	1,117	1,850	146.2	40	988	813	77	537	1,007
10-12月	3,855	3,852	2,789	1,063	1,822	141.9	39	1,023	833	81	520	944
2023年 1-3月	3,685	3,726	2,716	1,011	1,728	139.1	31	971	774	75	465	985
4-6月	3,684	3,591	2,627	964	1,709	142.8	35	944	812	77	461	974
2023年 6月	1,281	1,258	921	337	1,709	135.9	10	329	275	28	158	346
7月	1,282	1,258	927	331	1,683	133.8	9	335	277	28	162	338
8月	1,217	1,118	798	320	1,764	157.8	7	299	247	21	157	364
2021年度	24.4	22.0	20.6	25.5	235	-	38.2	29.8	25.2	16.2	22.0	15.9
2022年度	▲10.8	▲9.1	▲9.1	▲9.0	▲229	-	▲20.4	▲14.0	▲9.9	▲13.4	▲8.7	▲5.4
2022年 4-6月	▲11.1	▲9.0	▲11.4	▲3.1	▲78	-	▲3.3	▲16.2	▲13.1	▲18.3	▲3.0	▲6.1
7-9月	▲12.7	▲11.1	▲10.7	▲12.1	▲29	-	▲13.3	▲17.9	▲11.5	▲21.1	▲8.1	▲5.3
10-12月	▲8.6	▲6.8	▲5.4	▲10.3	▲28	-	▲25.6	▲8.3	▲3.6	▲2.7	▲7.3	▲9.5
2023年 1-3月	▲10.9	▲9.2	▲8.7	▲10.7	▲94	-	▲37.6	▲13.1	▲10.9	▲9.3	▲16.3	▲0.5
4-6月	▲6.1	▲7.7	▲2.8	▲18.8	▲19	-	▲23.1	▲5.5	0.0	▲3.0	▲11.4	▲4.6
2023年 6月	0.4	▲4.6	2.7	▲20.2	▲17	-	▲29.2	1.2	7.6	1.4	▲11.7	6.9
7月	0.9	▲2.5	2.0	▲13.3	▲26	-	▲32.7	5.7	2.2	7.0	▲4.4	3.1
8月	▲4.7	▲4.2	▲3.5	▲5.8	80	-	▲43.6	▲8.5	▲2.9	▲9.6	▲17.1	6.7
4月からの累計	6,183	5,968	4,352	1,615	-	-	51	1,579	1,337	125	781	1,676
前年同期	6,469	6,346	4,437	1,909	-	-	72	1,644	1,338	128	880	1,689
増減量	▲287	▲379	▲85	▲293	-	-	▲21	▲65	▲1	▲3	▲99	▲14
前年同期比	▲4.4	▲6.0	▲1.9	▲15.4	-	-	▲28.6	▲3.9	▲0.1	▲2.1	▲11.3	▲0.8

（出所）経済産業省、日本鉄鋼連盟

（注）1. 在庫は前月（期）末比増減。

2. 生産は最終鋼材生産、出荷・メーカー在庫は外販用鋼材販売在庫調査、在庫はメーカー及び市中在庫合計。

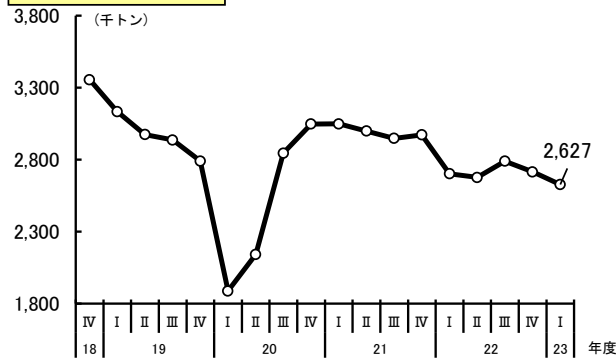
3. SCは機械構造用炭素鋼、ALは構造用合金鋼。

4. 生産については、2020年1月より、経済産業省の特殊鋼生産統計（最終鋼材）において鋼管が対象外とされたため、本表では業界自主統計より特殊鋼鋼管生産を加算して最終鋼材生産を算出している。

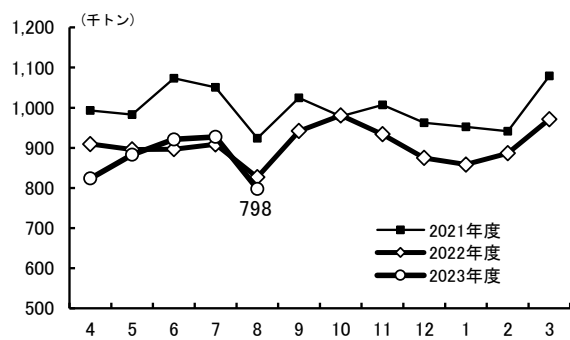
〔図 2 5〕 特殊鋼鋼材需給

国内向け出荷

【四半期】

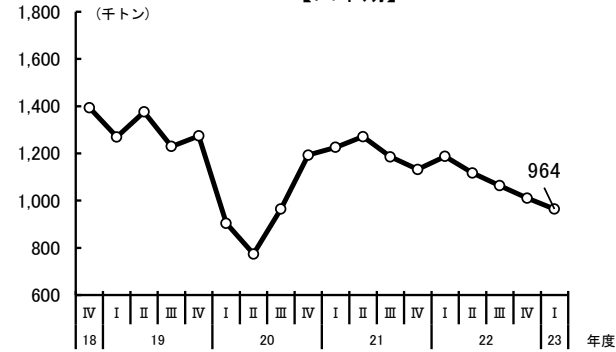


【月次】

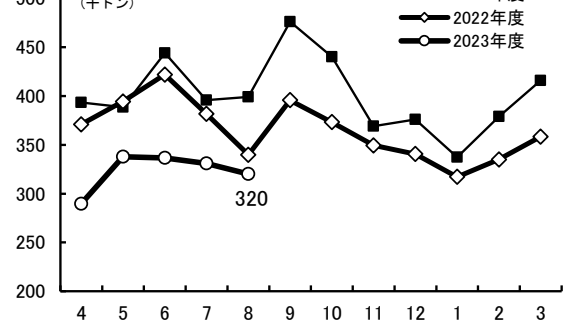


輸出向け出荷

【四半期】

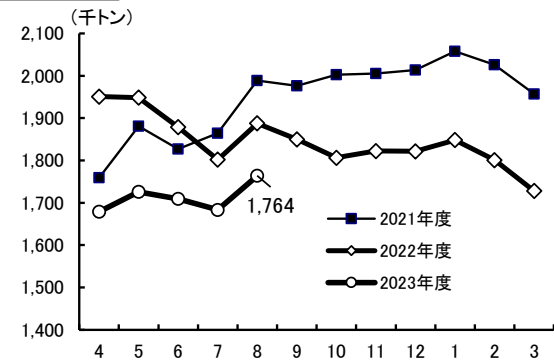


【月次】

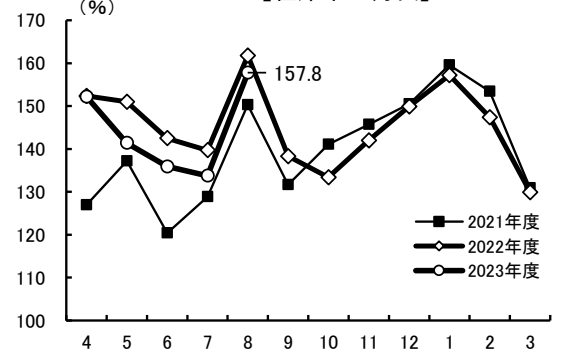


鋼材在庫

【在庫量／月次】

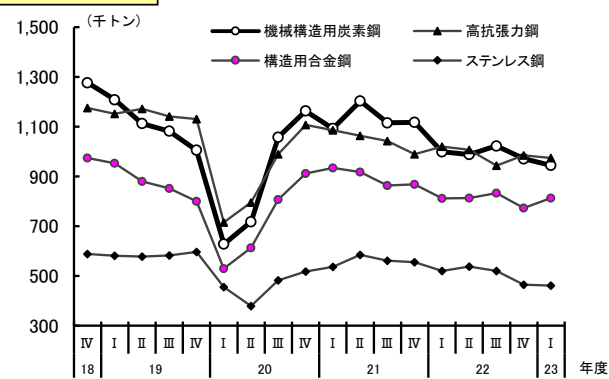


【在庫率／月次】

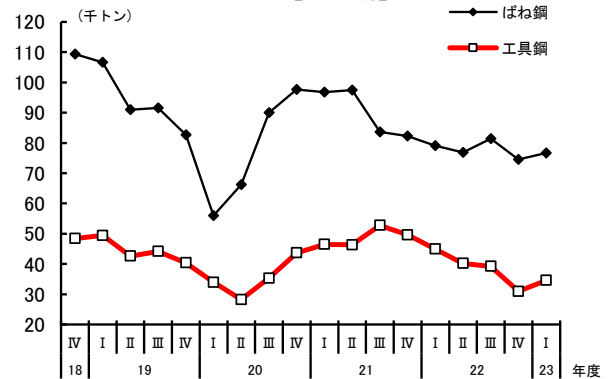


鋼種別生産

【四半期】



【四半期】



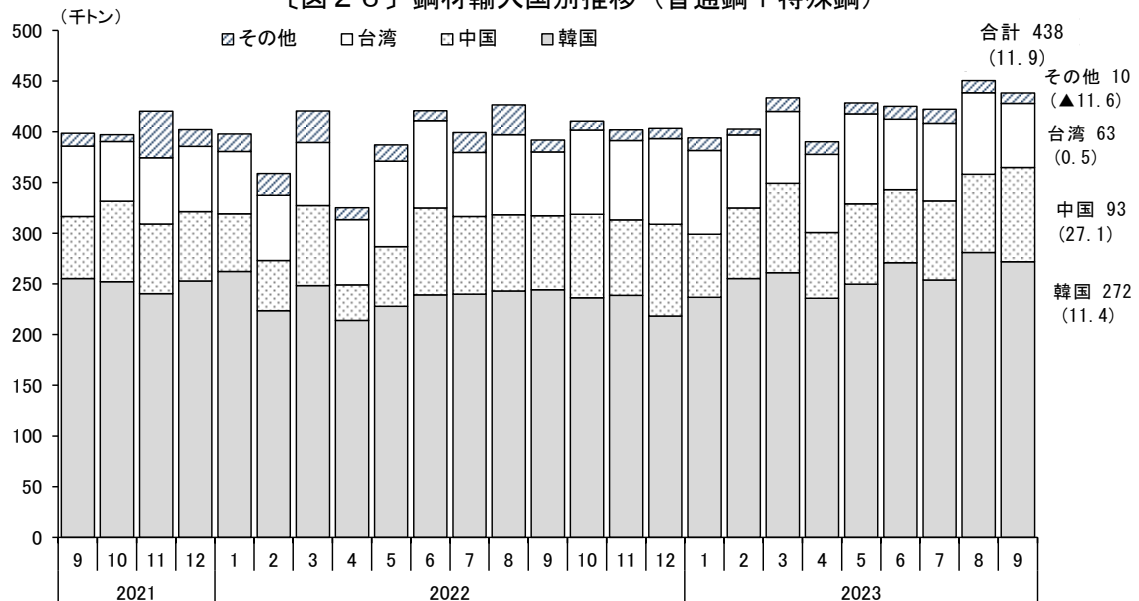
５．鋼材輸入、鋼材流通

－９月の鋼材輸入は、前年同月比 11.9%増の 44 万トンと 8 ヶ月連続の増加－

○ ９月の鋼材輸入の動向

- ・ ９月の鋼材輸入（普通鋼＋特殊鋼）は、前年同月比 11.9%増の 44 万トンと 8 ヶ月連続の増加となった。国別では、韓国（11.4%増・8 ヶ月連続）、中国（27.1%増・3 ヶ月連続）、台湾（0.5%増・3 ヶ月連続）が増加した。
- ・ 鋼種別では、普通鋼（11.7%増）が 10 ヶ月連続の増加となったほか、特殊鋼（13.4%増）も 10 ヶ月ぶりの増加となった。特殊鋼のうち、ステンレス鋼（1.7%増・10 ヶ月ぶり）、その他合金鋼（29.3%増・2 ヶ月ぶり）がともに増加した。

〔図 2 6〕 鋼材輸入国別推移（普通鋼＋特殊鋼）



（注）棒グラフ上の数値は、普通鋼と特殊鋼の輸入量計。（ ）は前年同月比。

〔表 9〕 普 通 鋼 鋼 材 輸 入

（単位：千トン、％）

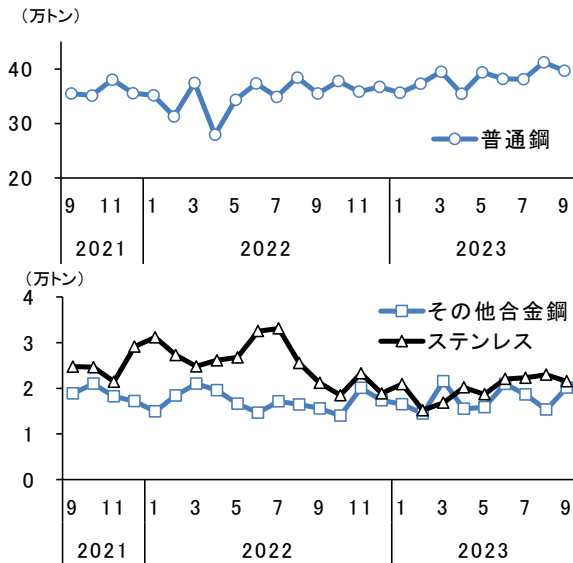
		普通鋼鋼材輸入							国 別			
	鋼材輸入 合計 (普通鋼+特殊鋼)	合 計	線 材	厚中板	熱延薄板類	冷延薄板類	亜 め っき 鋼 板	その他	韓 国	台 湾	中 国	その他
2021年度	4,703	4,150	318	415	1,228	870	899	420	2,627	702	573	249
2022年度	4,797	4,314	303	389	1,397	813	991	420	2,672	836	693	113
2022年 7～ 9月	1,218	1,089	103	90	364	198	237	96	673	186	183	47
10-12月	1,216	1,104	54	94	362	211	265	117	658	233	195	17
2023年 1～ 3月	1,230	1,125	81	113	333	213	280	105	714	206	182	23
4～ 6月	1,244	1,131	61	107	359	216	271	116	705	219	180	27
7～ 9月	1,311	1,190	74	105	360	221	307	123	742	204	217	28
2023年 7月	422	381	28	30	116	70	100	37	232	71	67	11
8月	451	412	23	33	131	80	102	44	262	73	68	9
9月	438	397	23	42	113	71	105	43	249	59	82	7
2021年度	2.5	4.1	26.4	▲20.4	▲0.5	21.7	10.6	▲7.3	▲2.3	▲13.5	60.0	91.4
2022年度	2.0	3.9	▲4.6	▲6.4	13.8	▲6.6	10.3	0.1	1.7	19.0	20.9	▲54.4
2022年 7～ 9月	9.7	10.4	10.5	▲9.4	30.7	▲13.1	24.9	▲1.0	12.2	13.1	29.8	▲42.2
10-12月	▲0.3	1.5	▲26.6	▲13.3	8.1	1.0	5.2	7.1	▲3.5	35.8	12.4	▲71.1
2023年 1～ 3月	4.5	8.2	▲8.0	16.1	4.2	9.7	20.8	▲3.9	5.6	24.7	29.8	▲60.2
4～ 6月	9.8	13.4	▲6.9	16.8	6.3	13.7	30.0	12.6	12.4	3.5	36.3	3.4
7～ 9月	7.7	9.3	▲28.4	17.6	▲1.3	11.7	29.4	27.7	10.3	9.6	18.5	▲41.1
2023年 7月	5.7	9.2	▲27.7	5.8	1.0	11.3	39.1	15.4	5.2	27.0	15.4	▲23.3
8月	5.6	7.2	▲49.8	5.0	2.7	19.3	26.5	32.8	17.1	1.5	6.0	▲62.0
9月	11.9	11.7	20.6	41.9	▲7.6	4.4	24.0	34.8	8.5	2.7	34.5	▲6.4
4月からの累計	2,555	2,321	135	213	719	438	578	239	1,447	422	397	54
前年同期	2,351	2,086	169	182	702	388	446	199	1,300	397	315	73
増 減 量	204	235	▲34	31	17	49	132	40	147	25	82	▲18
前年同期比	8.7	11.3	▲20.0	17.2	2.4	12.7	29.7	19.9	11.3	6.3	26.0	▲25.3

（出所）財務省貿易統計

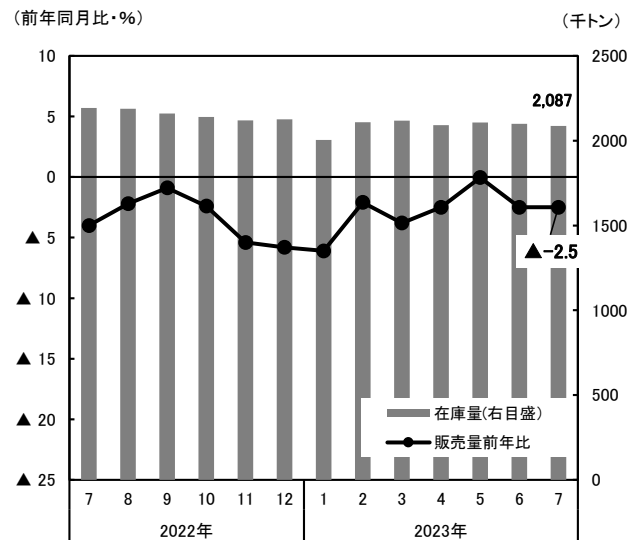
〇7月における鋼材流通の動向

- ・ 市中販売は、前年同月比 2.5%減の 215 万トンと、24 ヶ月連続の減少となった。
- ・ 市中在庫（自社所有分）は、前月末比で 1.3 万トン減少の 209 万トンと 3 ヶ月ぶりの減少となった。

〔図 2 7〕 鋼材輸入鋼種別推移



〔図 2 8〕 市中鋼材数量調査の推移



〔表 1 0〕 特殊鋼鋼材輸入

(単位:千トン、%)

	合 計	特殊鋼鋼材輸入							国 別			
		ステンレス	その他合金鋼	線材			韓国	台湾	中国	その他		
				線材	鋼板	その他						
2021年度	552	294	258	57	19	182	244	71	200	38		
2022年度	483	279	204	57	17	130	182	75	179	46		
2022年 7-9月	129	80	49	13	4	32	54	19	42	14		
10-12月	112	61	51	13	5	34	35	14	52	12		
2023年 1-3月	105	53	53	18	5	30	40	19	38	9		
4-6月	113	61	52	16	4	33	52	17	36	9		
7-9月	121	67	54	16	5	33	64	16	32	9		
2023年 7月	41	22	19	7	1	11	22	5	11	3		
8月	38	23	15	5	1	9	19	7	10	3		
9月	42	22	20	4	3	13	23	4	11	3		
2021年度	▲8.1	31.1	▲31.5	▲10.8	▲87.9	17.0	▲3.9	46.4	▲24.6	11.7		
2022年度	▲12.6	▲5.3	▲21.0	▲0.2	▲11.1	▲28.4	▲25.4	6.3	▲10.1	22.0		
2022年 7-9月	4.3	16.7	▲11.0	18.3	22.1	▲21.4	▲9.9	33.7	5.9	42.1		
10-12月	▲14.8	▲19.3	▲8.8	0.4	58.9	▲16.6	▲44.6	▲21.0	21.4	33.8		
2023年 1-3月	▲23.3	▲36.4	▲3.4	31.9	2.8	▲17.5	▲31.8	▲16.4	▲16.2	▲22.2		
4-6月	▲16.9	▲28.7	2.9	22.1	16.8	▲5.5	▲4.0	▲28.7	▲24.8	▲20.6		
7-9月	▲6.2	▲16.3	10.1	25.4	19.7	2.9	19.1	▲14.4	▲25.2	▲36.2		
2023年 7月	▲18.5	▲32.7	8.9	29.1	▲33.0	3.9	11.8	▲24.8	▲41.1	▲47.1		
8月	▲8.7	▲9.9	▲6.8	39.6	▲18.2	▲20.9	▲1.4	4.7	▲16.5	▲39.4		
9月	13.4	1.7	29.3	5.6	110.7	27.0	54.9	▲24.6	▲9.7	▲20.5		
4月からの累計	234	128	106	32	9	66	116	33	67	18		
前年同期	265	165	100	26	7	67	108	42	90	26		
増 減 量	▲31	▲37	6	6	1	▲1	8	▲9	▲22	▲7		
前年同期比	▲11.7	▲22.7	6.4	23.8	18.5	▲1.5	7.6	▲22.2	▲25.0	▲29.1		

(出所) 財務省貿易統計

〔表 1 1〕

鋼材流通動向

市中鋼材数量調査	
販売量	在庫量
26,718	2,198
25,673	2,118
6,469	2,160
6,467	2,126
6,290	2,118
6,336	2,100
-	-
2,150	2,087
-	-
-	-
▲3.1	259
▲3.9	▲80
▲2.4	▲44
▲4.6	▲33
▲4.0	▲8
▲1.7	▲18
-	-
▲2.5	▲13
-	-
-	-
8,485	-
8,653	-
▲167	-
▲1.9	-

(出所) 日本鉄鋼連盟

(注) 在庫は前月(期)末

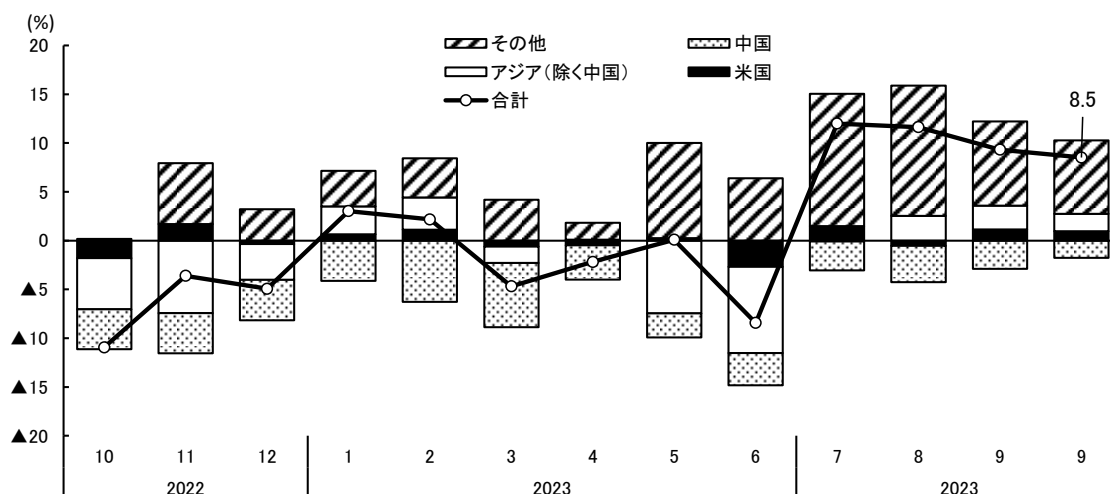
6. 鉄鋼輸出

－10月の全鉄鋼輸出(速報)は、

前年同月比8.5%増の269万トンと4ヵ月連続の増加－

- 10月の全鉄鋼輸出(速報)は、前年同月比8.5%増の269万トンと4ヵ月連続の増加となった。仕向け先別にみると、中国向け(15.0%減・20ヵ月連続)、韓国向け(9.9%減・4ヵ月ぶり)が減少したものの、米国向け(31.7%増・2ヵ月連続)、ASEAN向け(3.3%増・2ヵ月ぶり)が増加した。
- 9月の普通鋼鋼材輸出は、前年同月比13.1%増の182万トンと3ヵ月連続の増加となった。品種別にみると、冷延鋼板類(11.9%減)が減少、厚中板(11.5%増)、熱延鋼板類(20.6%増)、亜鉛めっき鋼板(7.4%増)がいずれも増加した。
- 10月の輸出平均単価(速報)は、全鉄鋼ベースで1,019ドルと前月比で2ヵ月ぶりの低下となった。

〔図29〕全鉄鋼仕向け先別輸出推移



〔表12〕鉄鋼輸出総括表

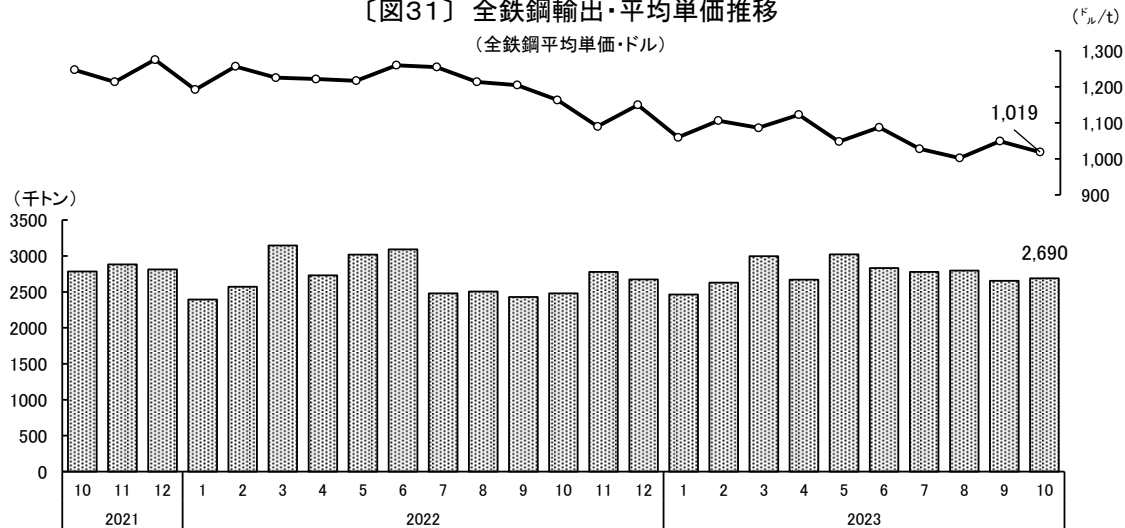
	輸 出 数 量 (千トン)				金 額 (FOB)		平 均 単 価			円／ドル 換 算 レ ー ト
	全鉄鋼	銑鉄	鋼塊・半製品	鋼材	百万ドル	億円	ド ル		千円 鋼材	
							全鉄鋼	鋼材		
2021暦年	34,400	40	3,647	29,805	37,617	41,293	1,093.5	1,087.2	119.3	109.77
2022暦年	32,303	73	3,113	28,345	38,917	50,698	1,204.8	1,200.2	156.4	130.27
2022年 7- 9月	7,416	14	701	6,532	9,083	12,444	1,224.7	1,223.3	167.6	137.00
10-12月	7,933	26	711	6,996	8,988	12,858	1,133.0	1,129.4	161.6	143.05
2023年 1- 3月	8,091	52	761	7,109	8,775	11,627	1,084.5	1,083.0	143.5	132.51
4- 6月	8,526	21	830	7,517	9,245	12,546	1,084.3	1,083.6	147.0	135.70
7- 9月	8,232	14	757	7,299	8,446	12,131	1,026.0	1,025.1	147.2	143.63
2023年 8月	2,797	6	211	2,530	2,803	3,986	1,002.3	1,002.0	142.5	142.18
9月	2,656	1	263	2,336	2,786	4,081	1,049.1	1,047.2	153.4	146.46
P 10月	2,690	-	-	-	2,740	4,080	1,018.6	-	-	148.90
2021暦年	7.0	▲92.7	▲10.5	11.4	42.6	46.3	33.2	32.1	35.4	2.5
2022暦年	▲6.1	84.0	▲14.6	▲4.9	3.5	22.8	10.2	10.4	31.0	18.7
2022年 7- 9月	▲17.4	24.5	▲22.5	▲16.7	▲12.4	9.0	6.1	6.5	32.5	24.4
10-12月	▲6.5	214.5	▲16.8	▲5.2	▲14.9	7.6	▲9.0	▲8.7	15.4	26.4
2023年 1- 3月	▲0.2	515.5	▲2.8	▲0.0	▲11.7	1.5	▲11.5	▲11.1	2.2	15.0
4- 6月	▲3.6	▲15.3	▲9.6	▲2.4	▲15.2	▲10.0	▲12.1	▲11.7	▲6.3	6.2
7- 9月	11.0	▲1.9	8.1	11.7	▲7.0	▲2.5	▲16.2	▲16.2	▲12.1	4.8
2023年 8月	11.6	45.8	▲14.8	14.9	▲7.8	▲3.1	▲17.4	▲17.4	▲13.1	5.2
9月	9.3	▲76.7	30.1	7.9	▲4.8	▲0.3	▲12.9	▲12.9	▲8.8	4.7
10月	8.5	-	-	-	▲5.0	▲2.5	▲12.4	-	-	2.6
4月からの累計	19,449	35	1,588	14,816	20,432	28,757	1,050.5	1,054.8	147.1	-
前年同期	18,740	39	1,619	14,237	22,874	30,569	1,220.6	1,402.8	187.5	-
増 減 量	709	▲4	▲31	579	▲2,443	▲1,812	▲170.1	▲347.9	▲40.4	-
前年同期比	3.8	▲10.3	▲1.9	4.1	▲10.7	▲5.9	▲13.9	▲24.8	▲21.5	-

(出所) 財務省貿易統計 (注) 平均単価欄の鋼材は全鉄鋼から鉄鉄、フェロロイを除いたベース。

〔図30〕 普通鋼鋼材品種別輸出推移(前年同月比寄与度・%)



〔図31〕 全鉄鋼輸出・平均単価推移



〔表 1 3〕 国別品種別輸出推移

(単位：千トン，%)

	全鉄鋼計									普通鋼鋼材計				
	米 国	ア ジ ア	韓 国	中 国	ASEAN10	台 湾	香 港	イ ン ド		厚 中 板	熱 延 鋼 板 類	冷 延 鋼 板 類	亜 鉛 め っ き 鋼 板	
2021暦年	1,178	26,780	4,897	5,124	12,116	2,341	248	757	22,128	2,676	10,701	2,114	2,554	
2022暦年	1,268	24,308	5,431	3,949	10,898	1,809	152	848	21,404	2,936	10,870	1,681	2,043	
2022年 7- 9月	281	5,746	1,138	940	2,696	406	36	197	4,870	722	2,403	399	473	
10-12月	326	5,874	1,402	868	2,644	386	32	356	5,320	774	2,711	355	518	
2023年 1- 3月	313	5,782	1,591	670	2,698	400	32	242	5,609	784	2,987	388	553	
4- 6月	286	5,771	1,481	731	2,615	421	30	249	5,933	772	3,283	406	544	
7- 9月	332	5,630	1,309	703	2,679	392	22	300	5,761	783	3,168	386	542	
2023年 8月	97	1,954	425	231	970	111	9	115	2,026	276	1,119	163	187	
9月	130	1,769	420	230	811	140	5	80	1,818	273	946	117	164	
P 10月	98	1,951	436	248	906	-	-	-	-	-	-	-	-	
2021暦年	32.5	6.3	1.8	▲12.6	23.9	▲4.4	12.3	26.4	5.8	6.5	▲1.8	23.2	32.0	
2022暦年	7.6	▲9.2	10.9	▲22.9	▲10.0	▲22.7	▲38.7	11.9	▲3.3	9.7	1.6	▲20.5	▲20.0	
2022年 7- 9月	6.0	▲18.1	▲19.2	▲27.6	▲13.0	▲35.7	▲49.6	7.3	▲16.3	▲0.9	▲13.4	▲28.0	▲26.4	
10-12月	▲3.2	▲12.1	2.8	▲28.7	▲10.5	▲24.1	▲53.0	95.9	▲3.5	11.8	0.6	▲31.4	▲17.1	
2023年 1- 3月	8.7	▲6.0	12.2	▲41.1	1.9	▲9.8	▲31.0	83.0	4.2	8.9	10.6	▲19.1	8.4	
4- 6月	▲23.6	▲11.8	0.6	▲27.2	▲10.2	▲26.6	▲18.5	52.8	1.8	7.5	7.5	▲9.2	0.3	
7- 9月	18.4	▲2.0	15.0	▲25.2	▲0.6	▲3.5	▲39.8	52.3	18.3	8.4	31.8	▲3.1	14.6	
2023年 8月	▲12.1	▲1.5	14.4	▲28.7	3.6	▲16.4	▲28.2	136.1	20.9	19.0	32.0	14.8	12.4	
9月	27.5	▲0.6	22.8	▲23.4	▲1.9	7.9	▲51.1	▲16.7	13.1	11.5	20.6	▲11.9	7.4	
10月	31.7	0.0	▲9.9	▲15.0	3.3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4月からの累計	716	13,352	3,226	1,682	6,200	813	52	549	11,694	1,555	6,451	792	1,086	
前年同期	729	14,236	3,094	2,235	6,483	979	73	360	10,700	1,441	5,458	846	1,016	
増 減 量	▲13	▲884	131	▲554	▲284	▲166	▲21	189	994	114	993	▲54	71	
前年同期比	▲1.8	▲6.2	4.2	▲24.8	▲4.4	▲17.0	▲28.9	52.5	9.3	7.9	18.2	▲6.3	7.0	

(出所) 財務省貿易統計

(注) アジアは中東を除く。

7. 海外市場 —9月の粗鋼生産（世界計）は前年同月比1.5%減—

【全般的情勢】

中国は各種経済刺激策が打たれたものの、国内需要回復の足取りが鈍く、景気回復の動きは力強さを欠いている。米国はインフレ抑制のための高金利長期化への警戒感が続くものの、堅調な個人消費が成長を下支えする状況が続く。ユーロ圏では利上げは見送られたものの、内需は弱く景気後退懸念が高まりつつある。東南アジアでは、内需主導の緩やかな景気回復傾向が続き、インドも堅調な内需に牽引され景気は拡大基調を維持。

9月の世界の粗鋼生産（推計含む）は、中国の減少により前年同月比1.5%減の1億4,932万トンと4ヵ月ぶりの前年比減。高水準が続く中国の鋼材輸出がもたらす悪影響への懸念がASEAN諸国を中心に非常に高まっている。

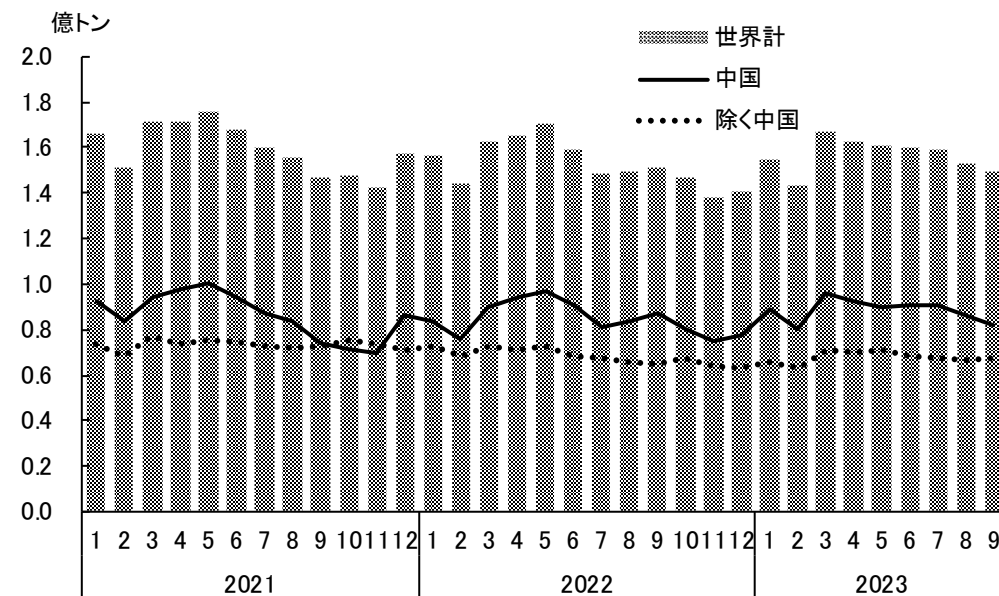
〔表14〕主要国の粗鋼生産

（単位：100万MT、%）

	2023年9月	前年同月比	2023年1～9月	前年同期比
日本	7.0	▲ 1.6	65.4	▲ 3.6
中国	82.1	▲ 5.6	795.1	1.7
韓国	5.5	18.2	50.2	▲ 0.6
台湾	1.5	1.5	14.5	▲ 8.6
インド	11.6	18.2	101.8	9.2
米国	6.7	2.6	60.6	▲ 1.4
ブラジル	2.5	▲ 9.3	23.9	▲ 8.4
E U27	10.6	▲ 1.1	96.2	▲ 9.1
ロシア	6.2	9.8	57.1	4.8
世界計	149.3	▲ 1.5	1,406.4	0.1

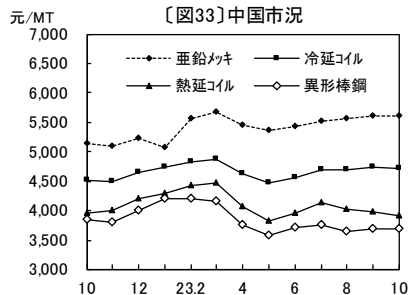
（出所）worldsteel 等

〔図32〕世界粗鋼生産



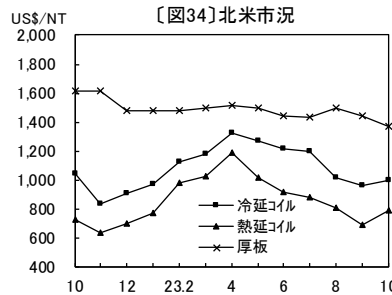
（出所）worldsteel

〔図33〕中国市況



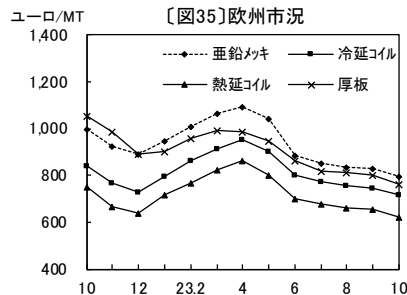
（出所）中国物資価格情報

〔図34〕北米市況



（出所）Kallanish

〔図35〕欧州市況

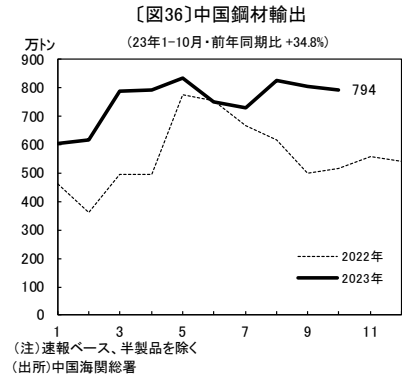


（出所）MEPS

【主要市場の動向】

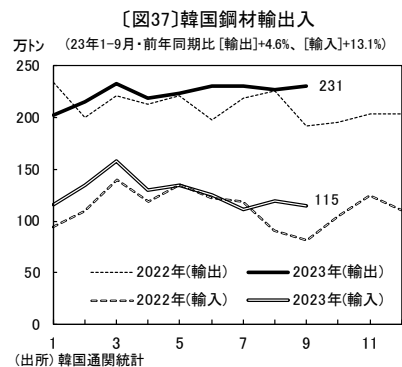
① 中 国

7～9 月期の実質 GDP 成長率は 4.9%増。9 月は消費や工業生産に回復傾向が見られるものの不動産関連、外需が低迷する中、10 月 PMI は再び 50 割れとなるなど景気回復は不透明。9 月の自動車は製販共に 2 ヶ月連続の前年比増。10 月の粗鋼生産は前年比 1.8%減の 7,909 万トンと 23 年入り後、初の 8,000 万トン割れ。同月の鋼材輸出は 53.1%増の 794 万トンと高水準が継続。1～9 月の鉄鋼業の売上高利益率は+0.37%と低水準が継続。10 月末の鋼材市況は熱延鋼板が下落も、その他主要品種はほぼ横ばい。



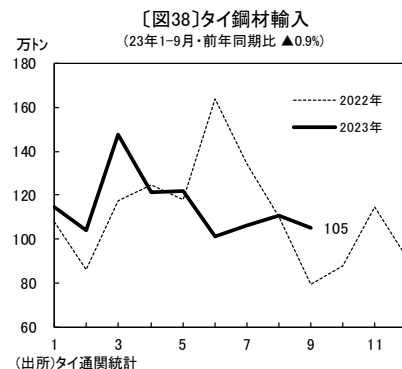
② 韓 国

7～9 月期の実質 GDP 成長率は前期比 0.6%増。低迷していた輸出・生産に反転増の動き。10 月の自動車生産は 2 ヶ月ぶりの前年比増。9 月の建築着工面積は 13 ヶ月連続の前年比減と低迷。9 月の粗鋼生産は前年の台風被害の反動を受け 5 ヶ月ぶりに前年比増。10 月の鉄筋棒鋼、熱延鋼板市況は下落。



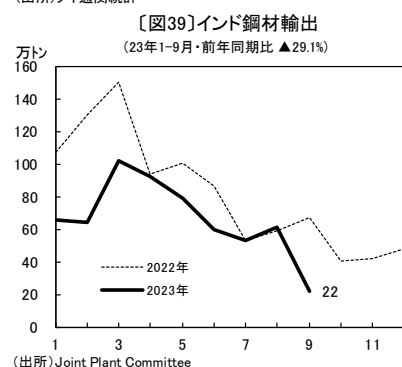
③ タ イ

サービス消費、輸出拡大により景気回復が継続。自動車は年間生産台数を下方修正。9 月鋼材輸入は熱延鋼板、亜鉛めっき鋼板、線材等を中心に前年比 32%増と拡大。特に中国からの輸入は同 89.2%増。



④ イ ン ド

8 月の鉱工業生産は前年比 10.3%増と 11 ヶ月連続で上昇。9 月の乗用車生産・販売は共に増加。鋼材見掛消費と鋼材実消費は共に 21 ヶ月連続で前年比増。鋼材貿易は、輸出が 2 ヶ月ぶり、輸入が 16 ヶ月ぶりに前年比減。



⑤ 米 国

7～9 月期の実質 GDP 成長率は前期比で年率 4.9%増と大幅に加速。個人消費が景気を下支えするものの、金融引き締めの影響が懸念。10 月の自動車販売は UAW ストライキにもかかわらず前年比増を維持。9 月の粗鋼生産は 4 ヶ月連続増。薄板市況はミル各社の販売価格立て直しを背景に上昇に転じる。

